

指宿市観光戦略ビジョン

～砂むしだけじゃない!! みらいがたとうじは 美来型湯治場いぶすき～



平成 25 年 3 月

はじめに

このたび、本市では、今後5年間の観光を推進するための総合的・体系的な計画として、「指宿市観光戦略ビジョン」を策定しました。

指宿は、世界でも珍しい天然砂むし温泉をはじめとする温泉や開聞岳や知林ヶ島などの美しい自然、生産量日本一のオクラやソラメ、鰹本枯節に代表される食、ホスピタリティあふれる人柄など豊富な観光資源を有しています。



これらの恵まれた資源を最大限に生かし、国内外からの交流人口を増大させ、産業の活性化や雇用の創出、国際化の進展など、様々な効果が期待できます。また、市民の皆様が地域の魅力を再認識し、観光を通じた交流の担い手となるとともに、魅力的なまちをつくることにもつながります。

現在、観光を取り巻く情勢は大きく変化しています。最近の旅行の主流は、「物見遊山型」・「団体型」から「体験型」・「交流型」・「個人・小グループ型」へと転換するとともに、旅行ニーズも多様化し、スローライフ・スローフード志向の高まりや健康増進・美容・癒しを求める傾向がみられます。

このように世界的な規模で観光による交流が活性化する中、指宿の観光も新たな情勢に対応していかなければなりません。本ビジョンが、指宿のまちの魅力を見つめなおすきっかけとなるとともに、将来を見据えた指宿の観光の大きな飛躍につながるよう願っています。

本ビジョンの具現化を図るためには、行政だけではなく、市民の皆様や民間事業者の皆様の協力が不可欠です。ビジョンに掲げる共通の目標に向かって関係機関・団体が連携し、新しい観光都市指宿、すなわち「砂むしだけじゃない!! ^{みらいがたとうじば} 美来型湯治場 いぶすき」の創造を目指し、なお一層の努力が求められています。

なお、本ビジョンの策定にあたり、指宿市観光戦略ビジョン策定委員会及び準備委員会委員の皆様をはじめ、多くの皆様から貴重なご意見、ご提言をいただきましたことに対し、心から感謝申し上げます。

平成25年3月

指宿市長 豊留 悦男

目 次

I 観光戦略ビジョンの策定にあたって	
1 なぜ観光振興に取り組むのか	1
2 ビジョン策定の目的	2
3 ビジョンの位置づけ	2
4 ビジョンの推進期間	2
II 指宿市の観光の現状と今後の方向性	
1 国・県の動向	3
2 指宿市の観光の現状	5
3 今後の課題	10
4 指宿市の観光特性の検討	11
5 これからの指宿市の観光振興に向けた取組み方向	12
III 指宿観光の目指す姿と柱の確立	
1 基本コンセプト（目指す姿）	13
2 目標を達成するための基本的な柱の設定	15
IV アクションプランと具体的施策	
指宿市観光戦略ビジョン施策体系図	17
1 海洋ミネラルたっぷりの温泉	18
2 温暖な気候と色濃い自然	20
3 食の旬感体験	22
4 ハートフルな人柄	25
5 変わらぬ観光, 変わる観光	29
V ビジョンの推進体制	
1 指宿の魅力, 強みを生かせる観光体制づくり	34
2 実施体制の明確化	34
資料編	37

I 観光戦略ビジョンの策定にあたって

1 なぜ観光振興に取り組むのか

観光振興が地域に及ぼす効果

① 経済的効果

観光は産業としての裾野が広く、1次産業から3次産業まで幅広い事業者が関わるとともに、観光に関連した新たな事業や雇用の創出にもつながることで市民の所得が増大するなど、大きな経済効果が期待できます。

② 社会的効果

市民と観光客とのふれあい、観光を足がかりとした新規定住者の増加、地域のイメージの向上、社会基盤の充実などにより地域づくりとしての社会的効果が期待できます。

観光産業としての特性

① 観光客に対し、サービスを提供して対価を得ることで地域経済の発展の大きな役割を果たします。

② ホテル旅館業、飲食業、運輸業など様々な業種で構成されていることから、その他の産業への波及効果により、地域全体の活性化につながります。

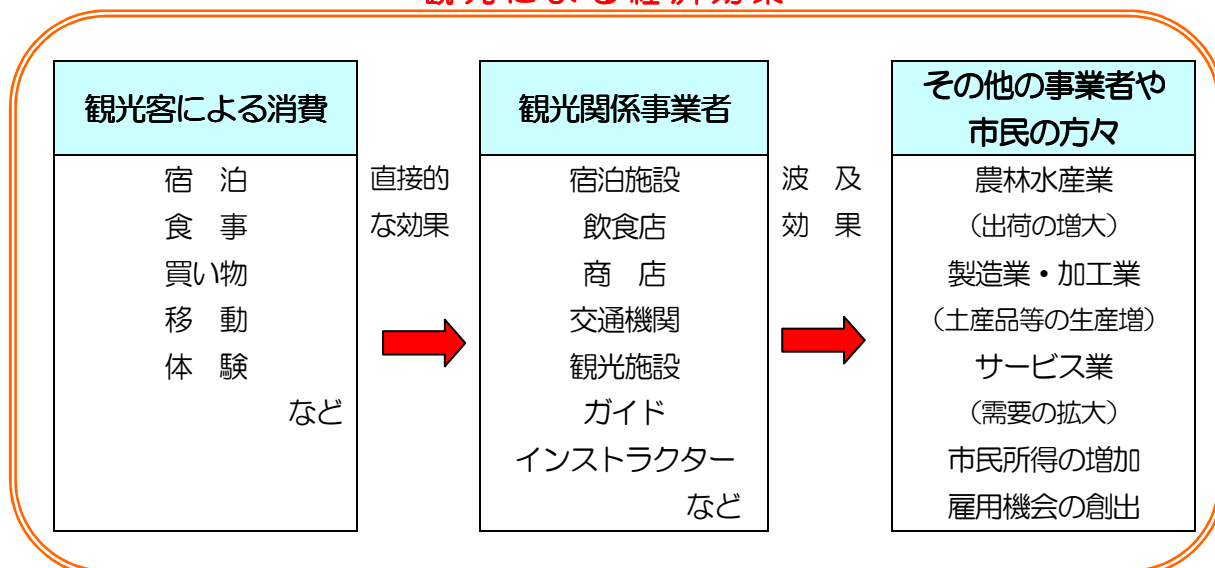
③ 様々な観光資源を活用することで、地場産業の振興につながります。

地域への愛着と誇りの醸成

地域の魅力的な資源を発掘して磨き上げ、それを観光客に見て楽しんでもらうことが市民の自信と誇りにつながります。

また、市民が地域の魅力を知るとともに、市民と観光客がふれあい、お互いに配慮した地域づくりに取り組むことで、魅力的な観光地となります。

観光による経済効果



2 ビジョン策定の目的

近年、わが国においては、人口が減少に転じ、少子化と高齢化が急速に進行するなど、経済面においても厳しい情勢となっています。

このように、社会経済情勢が変化する中で、観光は国の新しい成長戦略の一つとして位置付けられ、21世紀のリーディング産業として注目されています。

さらに、個人のライフスタイルの変化に伴う観光ニーズや旅行形態の変化、アジアを中心とした外国人観光客の増加など、観光を取り巻く環境は大きく変化してきています。

本市においては、平成23年3月の九州新幹線鹿児島ルート[※]の全線開業や観光特急「指宿のたまて箱」の運行により、現在多くの観光客が訪れていますが、今後もこの効果を持続・発展させ、地域経済の活性化に結び付けていくことが求められています。

また、持続的かつ安定的に観光客を呼び込むためには、地域に住む人々が地域に対する誇りと愛着を持てるような魅力的なまちづくりを進めるとともに、観光をリードしていく人材を育成することが重要です。

さらに、本市が推進する「^{けんこう}健幸のまちづくり[※]」と歩調を合わせながら、市民と観光客が元気になるための施策も必要です。

このような中で、本市では今までの観光のあり方にとらわれることなく、地域の魅力や特色を生かした「新しい観光」を計画的に推進し、市民・観光関連事業者・観光関連団体・行政などが協働して「魅力ある指宿」を創り出すことで、次の世代につながる指宿市民の一体感を確立させ、地域経済や地域社会の発展を図るため、観光戦略ビジョンを策定するものです。

※ 健幸のまちづくり：市民も観光客も健康で元気に幸せに暮らせる新しい都市モデルを目指そうとするもの。

3 ビジョンの位置づけ

「観光は総合産業である」といわれるように、観光の発展は地域の発展につながります。九州新幹線鹿児島ルート全線開業と観光特急「指宿のたまて箱」運行開始により活性化されつつある本市観光の勢いを、官民一体となって持続・発展させるためには、現状や課題を踏まえた上で、これから目指すべきまちの姿を共通認識していく必要があります。

本ビジョンは、これらを推進していくための指針として、観光のまち指宿の基本理念（＝目指す姿）を示すとともに、目標達成のための基本となる柱（＝視点、切り口）とそれに付随する取組み内容（＝アクションプラン）を定め、これらを実現するために実施していく重点プロジェクト（＝具体的施策）並びに行動計画（＝実施体制、実施時期）を示すものです。

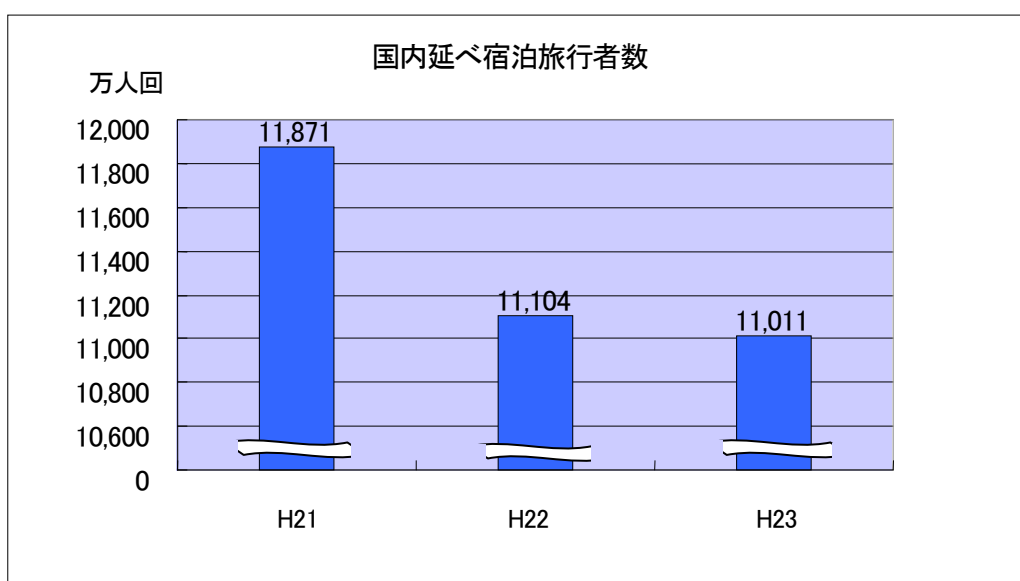
4 ビジョンの推進期間

観光は時代の流れや社会情勢など外的要因の影響を受けやすく、求められるものも変化し続けるため、観光のまちとして国内外の人々に愛され続けるためには、時代に合わせた戦略が必要です。そこで、本ビジョンの推進期間を概ね5年間とし、官民一体となって実施していきます。

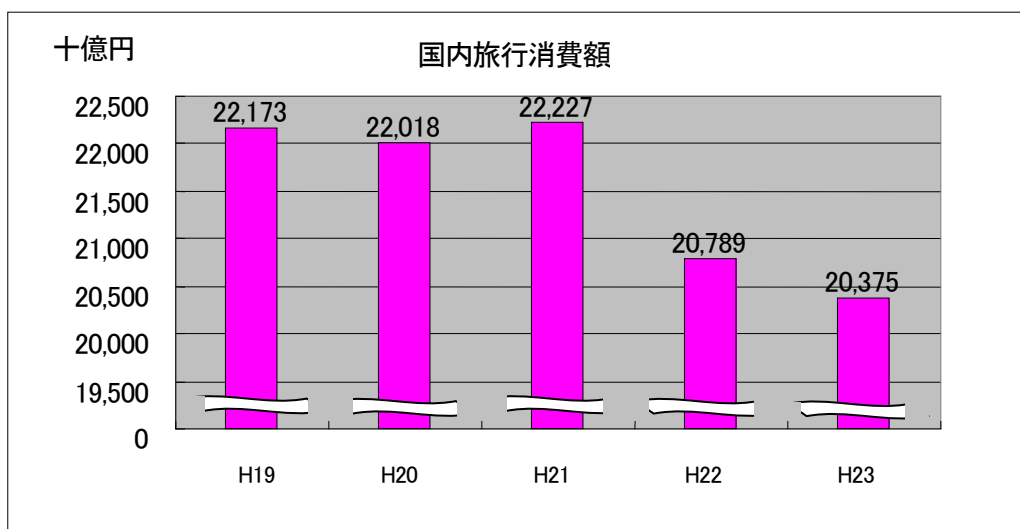
Ⅱ 指宿市の観光の現状と今後の方向性

1 国・県の動向

現在、わが国における社会経済環境は、人口減少や少子高齢化社会、長引く不況のあおりを受け、厳しい状況が続いています。平成23年3月に発生した東日本大震災では多大な被害を受け、今なお復興に向けた課題が残されています。これらが観光に与える影響は大きく、平成20年以降宿泊客数は減少傾向が続き、一人あたりの旅行費用も減少傾向にあります。



「じゃらん宿泊旅行調査2012」より

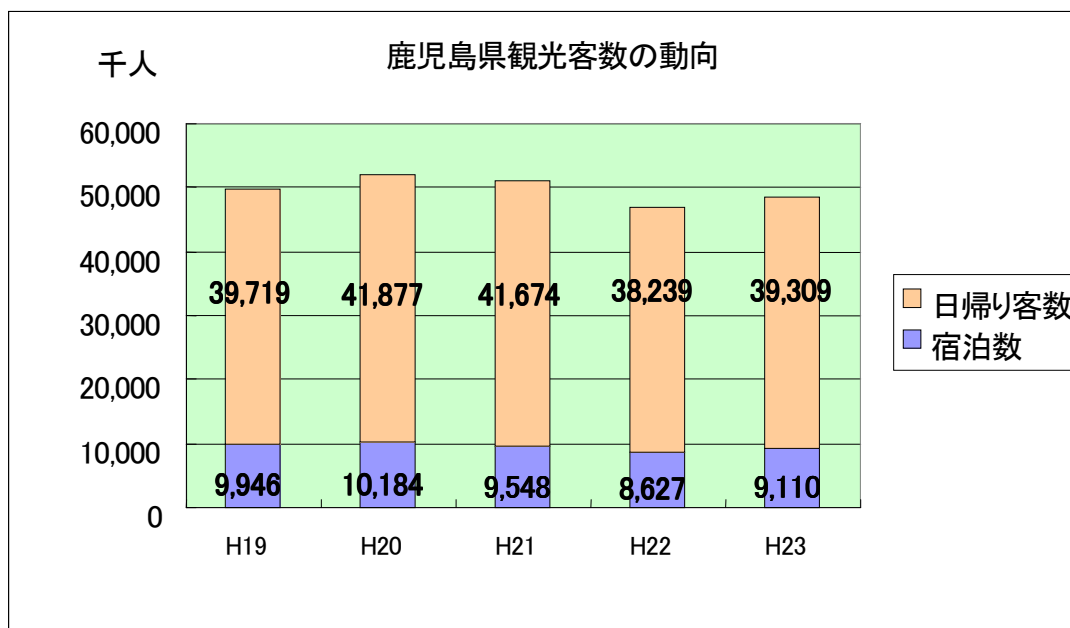


「観光庁：旅行・観光消費動向調査」より
国内旅行消費額=宿泊+日帰り

また、旅行形態の変化も見られ、個人旅行の割合が増加しているほか、「どこへ行くか（観光地）」よりも「何をするか（目的）」が重視される傾向にあります。

このような状況を受け、観光庁は、観光を国の成長戦略の柱のひとつとした「観光立国推進基本計画」を平成19年に策定、平成24年3月には「観光は、国の成長戦略の柱のひとつであり、長らく経済が低迷した地域が疲弊する中、人口減少・少子高齢化の閉塞状況を打ち破り、急速に経済成長するアジアの観光需要を取り込むとともに、地域経済の活性化、雇用機会の増大等を図る」ことを目指し、①震災からの復興 ②国民経済の発展 ③国際相互理解の増進 ④国民生活の安定向上を基本的な方針とした計画の見直しを行っています。

鹿児島県では、①魅力ある癒しの観光地づくり ②国内外からの誘客促進 ③おもてなし先進県鹿児島づくりを柱とした「鹿児島県観光振興基本方針」を策定し、リピーター確保や九州新幹線全線開業効果の県内各地への波及、アジアを中心とした外国人観光客数の回復に向けた取組みを実施しています。



「鹿児島県観光統計」より

2 指宿市の観光の現状

指宿市は世界でも珍しい「天然砂むし温泉」に代表される全国屈指の温泉のまちとして、観光を発展させてきました。他にも、「薩摩富士」と称される開聞岳や薩摩半島最南端の長崎鼻、JR 日本最南端駅の西大山駅、九州最大の湖「池田湖」、限られた日時にのみ砂の道（砂州）でつながる知林ヶ島など、指宿でしか味わえない魅力がいくつもあります。

また、生産量日本一のオクラ・ソラマメをはじめ、黒豚・黒牛・黒さつま鶏、カツオ、カンパチ、びわ、マンゴーなど全国に誇れる豊富な農畜水産物も魅力のひとつです。



秀峰・開聞岳



天然砂むし温泉

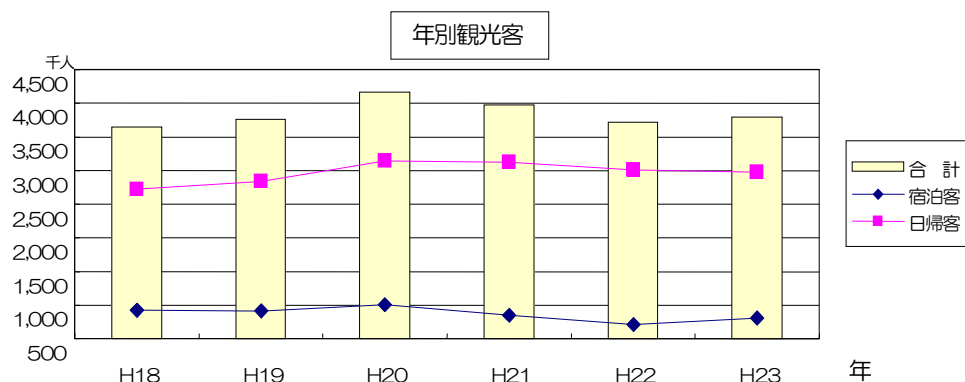
観光客の入込数については、平成18年に旧指宿市・山川町・開聞町の1市2町が合併してから、概ね370万人前後となっています。ピークはNHK大河ドラマ『篤姫』が放映された平成20年で、400万人を超える観光客が訪れました。しかし、平成22年は宮崎県で発生した口蹄疫や新燃岳の噴火の影響等で観光客数が激減、月別前年比は最低で約73%まで落ち込みました。さらに、平成23年3月に発生した東日本大震災により国内旅行の自粛や海外での風評被害が懸念されましたが、九州新幹線鹿児島ルート全線開業や観光特急「指宿のたまて箱」の運行開始、東日本大震災に伴い旅行の流れが西へ向いたことなどが転機となり、平成23年のゴールデンウィーク以降は関西・中国・北部九州からの来客が増加し、飛躍的な回復を見せる結果となりました。

指宿市観光客数の動向（年別）

<年別観光客>

単位：千人

区分\年	H18	H19	H20	H21	H22	H23
宿泊客	918	916	1,010	844	715	810
日帰客	2,721	2,838	3,147	3,125	3,007	2,980
合計	3,639	3,754	4,157	3,969	3,722	3,790

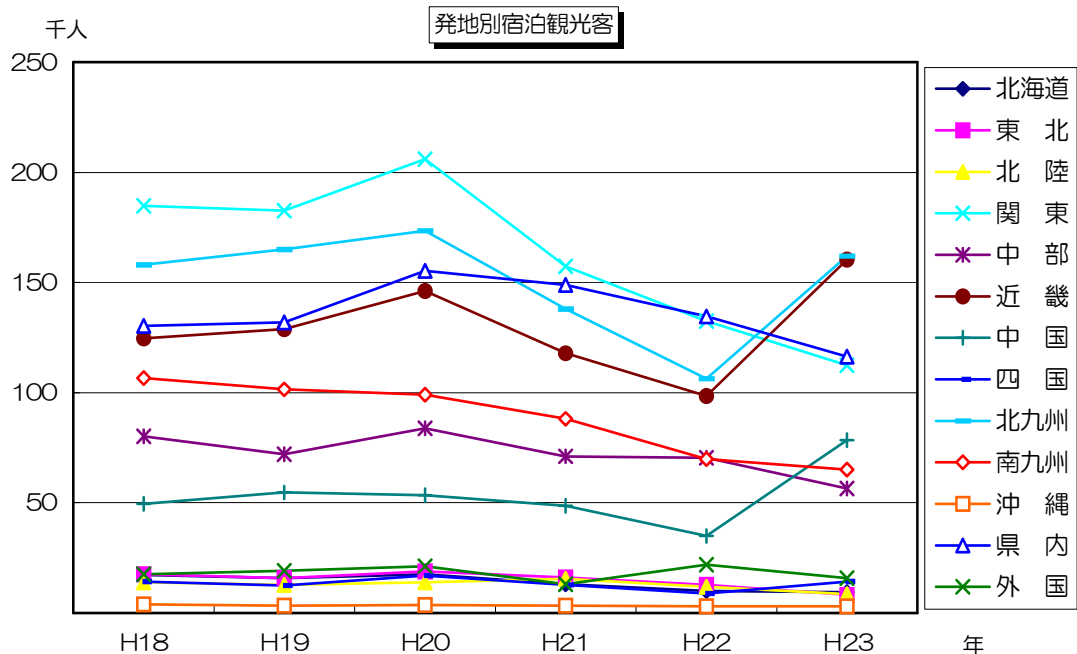


指宿市観光客数の動向（発地別）

＜発地別宿泊観光客＞

単位：千人

年	H18	H19	H20	H21	H22	H23
北海道	17	16	18	13	10	10
東北	17	16	19	16	13	8
北陸	14	13	14	15	12	9
関東	185	182	206	157	132	112
中部	80	72	84	71	70	60
近畿	124	129	146	118	98	160
中国	50	55	54	49	35	78
四国	14	13	17	13	9	14
北九州	158	165	174	138	106	162
南九州	107	102	99	88	70	65
沖縄	4	3	4	3	3	3
県内	130	132	155	149	135	116
外国	18	19	21	13	22	16
合計	918	916	1,010	844	715	810



外国人観光客については、年々増加傾向にありましたが、平成21年はリーマンショック※により大幅に減少しました。平成22年には回復を見せましたが、東日本大震災の影響で再び減少しています。国別では主力であった韓国が減少、台湾が増加傾向にあります。平成24年3月に鹿児島⇄台北の直行便が就航したこともあり、今後さらなる集客が期待されるところです。

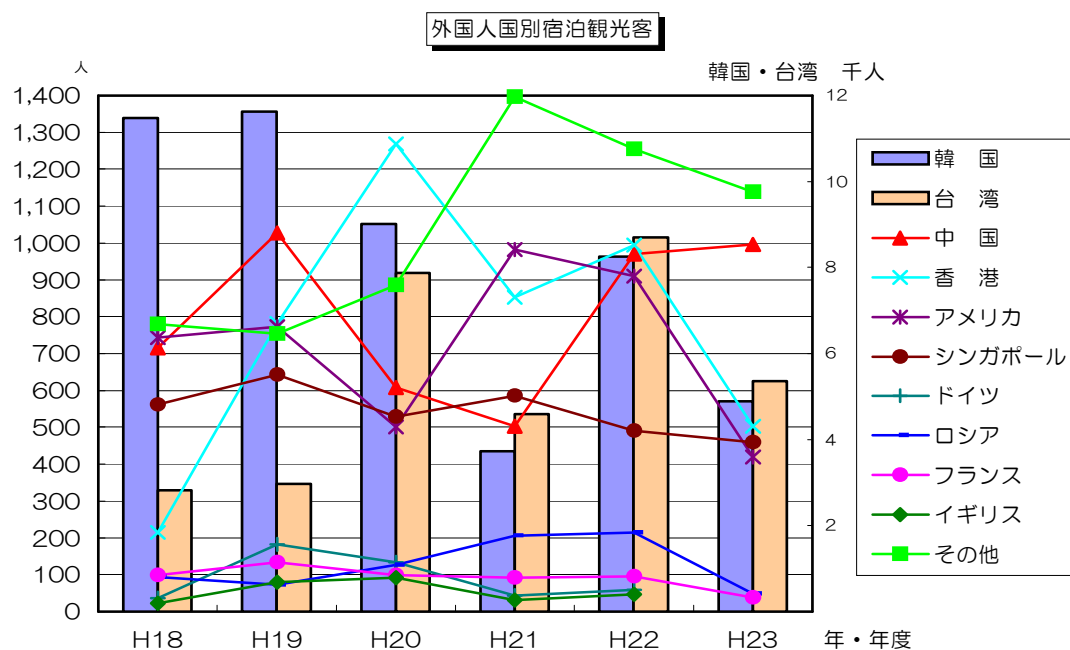
※ リーマンショック：2008年に、アメリカ合衆国の投資銀行であるリーマン・ブラザーズが破綻した出来事を、これが世界的金融危機（世界同時不況）の大きな引き金となったことに照らして呼ぶ表現。

指宿市観光客数の動向（外国人 国別）

<外国人国別宿泊観光客>

単位：人

国\年	H18	H19	H20	H21	H22	H23
韓国	11,487	11,629	9,021	3,722	8,263	4,880
台湾	2,816	2,976	7,871	4,582	8,701	5,368
中国	715	1,027	608	502	971	997
香港	214	782	1,268	853	995	502
アメリカ	743	773	500	982	909	419
シンガポール	561	642	529	586	491	460
ドイツ	37	182	133	43	59	59
ロシア	94	73	126	206	215	48
フランス	98	134	99	92	95	38
イギリス	22	79	92	31	46	42
その他	780	753	886	1,396	1,254	1,040
合計	17,567	19,050	21,133	12,995	21,999	13,853



観光に関する主な取組みとしては、駅前や商店街の活性化を図るため、ご当地グルメ「温たまらん丼・温たまらん豚[※]」や「そら豆スイーツ」の開発、「たべ歩き・まち歩きマップ」の販売、「いぶすきマルシェ」や市民団体による「呑み歩きイベント」の開催など、食と観光を結びつけた取組みが展開されています。

また、菜の花マラソンや篤姫ブームで培った「おもてなし」を発展させた指宿駅でのお出迎え・お見送りや観光特急「指宿のたまて箱」への旗振り、南薩、大隅、種子島、屋久島等との「広域連携」による滞在型観光の推進、満足度の向上や口コミ効果を狙った「女性に喜ばれる観光地づくり」にも力を入れ、観光のまちとしての魅力向上に努めています。

※ 温たまらん丼・温たまらん豚：「さつま芋卵」を砂むし温泉の泉源で調理したこだわりの卵と地元産の食材を使ったご当地グルメ。温たまらん豚は黒豚と温泉卵がメインの料理。

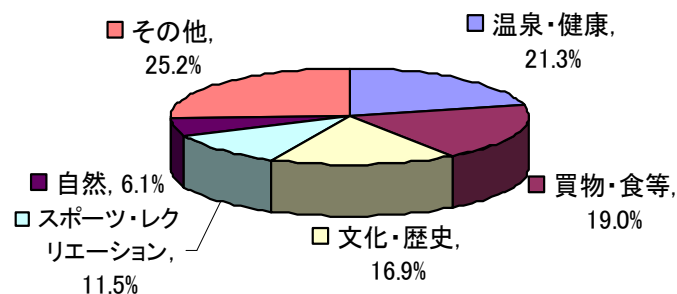
指宿市観光客数の動向（目的別）

<目的種別観光客>

単位：千人

目的種別\年	H22	H23
温泉・健康	534	597
買物・食等	518	534
文化・歴史	478	475
スポーツ・レクリエーション	305	322
自然	159	170
その他	860	706
合計	2,854	2,804

H23年 目的種別観光客の割合



平成 23 年に、インターネット利用による宿泊予約サイト「じゃらんnet」を利用して予約した観光客の傾向をみると、平均宿泊数は 1.2 泊、20 歳代～50 歳以上の女性客の割合が、県内平均を上回っています。男性では、50 歳以上が県内平均を上回っており、「女性」と「中高年層」の割合が高いといえます。

指宿市観光客数の動向（男女別・年代別）

男女別年齢構成比(指宿エリア)

	男性	女性
19歳以下	0.1%	0.2%
20～24歳	2.5%	3.3%
25～29歳	5.3%	8.3%
30～34歳	6.5%	7.5%
35～39歳	7.8%	6.9%
40～49歳	14.2%	8.4%
50歳以上	20.8%	8.4%
合計	57.2%	43.0%

男女別年齢構成比(鹿児島県全体)

	男性	女性
19歳以下	0.2%	0.3%
20～24歳	2.9%	3.2%
25～29歳	7.8%	6.7%
30～34歳	9.6%	5.8%
35～39歳	10.9%	4.8%
40～49歳	19.0%	6.5%
50歳以上	16.9%	5.3%
合計	67.3%	32.6%

- 平均宿泊数…1.2 泊
- 女性客の比率が県内他地域に比べ高い
- 50 歳以上の観光客が多い

「2011 年 じゃらんnet データ」より



3 今後の課題

今後も人口減少や少子高齢化の進行に伴い、旅行人口の減少が懸念されることから、集客層の拡大（年代・エリア）、滞在時間の拡充、リピーターの確保が課題となってきます。

また、現在の九州新幹線全線開業効果を持続させ、さらに広げていくためには、豊かな地域資源や自然景観を生かした滞在型・体験型観光の充実・拡大をはじめ、駅前・商店街の活性化、2次アクセスの利便性向上、近隣市町等との広域観光の推進、心のこもったおもてなし、インターネット等を活用した情報発信の充実、国内観光客はもちろん東アジア圏域を主とした外国人観光客の誘致等を図る必要があります。

特に、指宿市を訪れる観光客は、女性の比率が県内他地域に比べ高く、女性の方が「購買意欲が高い」「ロコミが広がりやすい」傾向にあることから、女性の関心・満足度の向上について検討していくことも大切です。

さらに、観光による経済効果を宿泊施設や観光施設だけでなく、飲食業や商工業など、あらゆる産業に波及させて、指宿市全体が潤っていきけるシステム作りが必要であると考えます。

このためにも、観光に対する市民の意識の向上や、観光業界をリードしていく人材の育成などに力を入れていく必要があります。

このほか、市民や観光客から次のような意見も上がっています。

- 指宿駅前のバス停の場所がわかりにくいので、案内の表示をしてほしい。
- 交通が不便である。
- 市の顔である指宿駅前の活性化を図ってほしい。
- 食べ物が豊富で宿の食事も美味しかった。
- 美しい自然に恵まれ、景色もすばらしい。
- 道路沿いにもっと花を植えて、南国の演出をした方がいい。
- 海に囲まれた街なのに、海水浴ができないのが残念である。
- 子供が遊べる場所が少ない。親子連れの観光客が立ち寄ってもらえる施設がほしい。
- すばらしい観光資源や素材が一杯あるのに、統一性がなく生かしきれていない。
- もっと自分の街に誇りを持って、どんどん自慢してほしい。

このような声を大事にしなが、指宿市観光の長所についてはさらに伸ばしていくとともに、課題や改善すべき点については、観光関係者や行政など官民一体となって取り組んでいく必要があります。

4 指宿市の観光特性の検討

市民アンケートの意見等を参考に、指宿市の観光の現状と観光を取り巻く情勢を把握し、指宿市の観光の特性をSWOT方式^{※1}で分析しました。

◎指宿市の観光の特性

強み (S)	弱み (W)
<ul style="list-style-type: none"> ・砂むしをはじめ温泉が豊富。泉質は保温効果が高い塩湯（塩化物泉）が主で、美肌（保湿）効果の高い成分も多く含まれる。 ・気候が温暖で、南方系の自然が豊か。 ・年間を通じて農畜水産物の生産ができ、食に恵まれている。 ・人柄が温かく、おもてなしの心が浸透している。 ・宿泊施設や観光特急など観光基盤が確立されていて、全国的な知名度も高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通信回線が未熟で、ITを活用した情報発信力に乏しい。 ・観光地が点在しているため、交通が不便。 ・各組織の取組みがバラバラかつ単発で、コーディネートがない。 ・観光空間と生活空間が混在していて、まちなみ（景観）が統一されていない。 ・駅周辺の賑わいや土産品・土産店など大きな産業がない。 ・地元で何かを起こそうという気持ちに欠けている。
機会 (O)	脅威 (T)
<ul style="list-style-type: none"> ・観光客への旗振りやお出迎えなど、おもてなし活動が盛んになってきた。 ・広域連携が広がってきた。（南九州市、大隅半島、種子屋久、霧島市など） ・健康のまちづくりやヘルスツーリズムなど、指宿の資源を健康や美容と結びつけた事業展開が始まった。 ・台北線就航により、台湾からの送客が増加している。 ・民間異業種同士の連携により、体験型プログラムが増加しつつある。 ・新幹線や観光特急により移動時間が短縮され、現地の滞在時間が長くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略性や持続性のないハード整備や事業展開が進められている。 ・くまモンの流行や東京スカイツリー開業、東北支援の傾向、北陸新幹線開業に向けた動きなど、他観光地の勢いが強まっている。 ・雇用の場が減少し、人材が市外へ流れている。 ・景気の低迷により、国内の旅行人口が減少している。 ・外交問題や円高の影響で、外国人観光客が減少している。 ・知名度の高い観光地であるが、市民に実感がなく、観光意識が低い。 ・知名度が高いがゆえに危機感が低い。

※1 SWOT方式：特性を分析するための方法のひとつ。内部要因を「強み (Strength)」と「弱み (Weakness)」, 外的要因を「機会 (Opportunity)」と「脅威 (Threat)」に分け、指宿市に必要な戦略を見出す。

※2 ヘルスツーリズム：自然豊かな地域を訪れ、そこにある自然、温泉や身体に優しい料理を味わい、心身ともに癒され、健康を回復・増進・保持する新しい観光形態。

◎観光戦略の方向性

1 温泉を知って魅力を引き出す取組み

世界でも珍しい天然砂むし温泉を有し、全国の温泉地のなかでも屈指の知名度を誇る指宿温泉。砂むし温泉だけでなく、市内にあるその他温泉施設の歴史や泉質・効能を知り、ただ入るだけで終わらない温泉の魅力を引き出します。

- ・砂むし以外の温泉のPR
- ・温泉を生かした健康・美容プログラムの開発 など

2 温暖な気候が育む自然を生かした観光地づくり

南国特有の温暖な気候で育まれる大自然。暖かさを実感できる南方系の植物や一年中咲き誇る花々、海・山や古きよき田園風景など、自然を生かした観光地づくりに取り組みます。

- ・四季の花々を生かした景観整備
- ・ウォーキングロードの整備 など

3 豊かな農畜水産物を生かした食と体験の充実

温暖な気候に恵まれ一年中新鮮な作物が育つ食の宝庫・指宿の農畜水産物を手軽に味わってもらえる機会や、旬の食べ物の生産過程にふれ、安全・安心でおいしい指宿の食をより一層楽しんでもらえる機会をつくります。

- ・指宿の特産を生かした土産品の開発
- ・食育の推進 など

4 温かな人柄を生かした取組みと観光人材の育成

地域のつながりが強く、温かで親しみやすい指宿の人々。心のこもったおもてなしや地元で生活する人の姿を観光資源のひとつと捉えるとともに、次世代の指宿観光を担う人材を育てます。

- ・おもてなし活動の推進
- ・観光ガイドの充実 など

5 魅力の再認識とさらなる磨き上げ

古くから湯治場そして観光地として多くのお客様に親しまれてきた指宿。その魅力を再認識して守り育てるとともに、時代の流れやお客様のニーズに合わせて磨き上げ、広く永く愛される観光地となるよう進化し続けます。

- ・素材の発掘と磨き上げ
- ・情報発信の強化 など

5 これからの指宿市の観光振興に向けた取組み方向

これからの指宿市の観光振興にあたり、指宿を訪れたことのある観光客に対しては、満足してまた来てもらうことに加え、他の魅力も知ってもらい、また来てもらう仕組みづくりが大切です。

そのために、温泉・自然・食・人といった豊かな資源を生かし、体と心の健康・美容につながるような魅力的な観光プログラムを作り上げていきます。

そして、それらを知ってもらうための効果的な情報発信に取組み、観光客だけでなく、市民に対しても同様に発信していきます。

また、指宿を訪れる観光客は、女性の比率が県内他地域に比べ高いことや、女性の方が旅行先での消費意欲が高く、口コミ効果も期待できることから、プログラム開発や情報発信の際は、女性の視点を重視して取り組みます。

今後は、近隣市町等とも連携しながら、観光客のリピーター化や長期滞在の促進に取り組みます。

Ⅲ 指宿観光の目指す姿と柱の確立

指宿の観光振興を今後の5年間で計画的に実現していくために、「砂むしだけじゃない!! ^{みらいがた}美来型 ^{とうじば}湯治場いぶすき」をコンセプトに、「温泉」、「自然」、「食」、「人」といった指宿の特色・強みを生かしながら、これらに「健康」・「美」という要素を盛り込んだ指宿らしい観光メニュー、体験プログラム等を開発し、指宿を訪れる観光客が「体も心も健康でキレイになれるまち」を目指します。

1 基本コンセプト（目指す姿）

本市を訪れる観光客は、指宿に流れるゆっくりとした時間、風、味、すなわち「あるがままの指宿」を楽しみにしています。この期待に応えるためには、指宿に数多く存在する資源（＝『だから』）を、市民や訪れる人にとって魅力的なものにしていくことが大切です。

また、観光には多くの人々が関わることから、一体となって観光振興を進めるためには、“道しるべ”となる共通の考えを持つことが大変重要です。

そのため、「指宿市観光戦略ビジョン」では指宿の観光振興に向けた様々な取組みを効果的に進めるために、「行動の理念」となるコンセプトを掲げ、このコンセプトに基づいた基本的な柱や具体的施策、実施体制等についてまとめました。

（1）観光戦略ビジョンのコンセプト（5年後の目指す姿）

砂むしだけじゃない!! ^{みらいがた}美来型 ^{とうじば}湯治場いぶすき

指宿の観光と言えば、何といても「砂むし」です。砂浜に横たわり、波音を聞きながら楽しむ「砂むし」は、デトックス効果も高く、心身ともにリフレッシュできる天然のサウナです。「砂むし」は、世界でも類を見ない、貴重な観光資源です。「指宿＝砂むし」といっても過言ではないほど国内外での知名度は高くなっています。

また、指宿には、「砂むし」以外にも、優れた観光素材が満載です。泉源数が1,000を超え、豊かな泉質を誇る「温泉」をはじめ、日本百名山にも数えられる秀峰・開聞岳や薩摩半島最南端の岬・長崎鼻、九州最大の湖・池田湖に代表される「自然」、日本一の生産量を誇るオクラやソラマメ、鰹本枯節などの「食」、菜の花マラソンやいぶすき千本旗プロジェクトに代表されるおもてなしを实践する「人」など、指宿には数多くの、**砂むしだけじゃない**『だから』があります。

これまで、指宿は「砂むし」に代表される温泉を核とした湯治場として発展してきました。現代社会においては、仕事や日々のストレスに疲れた体を、ゆっくりとした時間の中で心身ともにリフレッシュすることが求められているため、湯治の価値も見直され、「温泉」の他に、「健康プログラム」や「その土地の風土・人」も大事な湯治要素の一つとなっています。

したがって、今後は、「砂むし」自体に新たな付加価値を見出していくとともに、**砂むしだけじゃない**豊かな「温泉」や美しい「自然」、美味しい「食」、ホスピタリティあふれる「人」等の魅力を有機的に組み合わせた新たな観光プランの開発・充実を図り、指宿を訪れた人が「体も心も健康

でキレイになれるまち」を目指していきます。

さらに、指宿から新しい湯治のスタイルを発信したいという思いと、指宿を訪れて体も心も美しくなってほしいという思いから、「未来」と「美」を組み合わせた指宿にしかない「^{みらいがたとうじば}美来型湯治場」を構築していきます。

(2) 目標到達に向けた取組みによる5年後の姿

「砂むしだけじゃない!! ^{みらいがたとうじば}美来型湯治場いぶすき」の実現に向けて観光振興に取り組むことにより、5年後の指宿の観光は、以下のようになることを想定します。

^{みらいがたとうじば}「美来型湯治場いぶすき」の実現



増加する主な項目
・観光入込客数（平成23年 379万人）
・宿泊客数（平成23年 81万人）
・市民が知っている観光施設等の数
・市民が自信を持って薦める観光施設等の数
・市民が1年間に砂むしに入浴する回数
・観光客が訪問する観光スポット数
・観光客が巡る温泉施設数
・観光土産となる特産品の数
・観光客が楽しめる体験メニューの数
・いぶすき千本旗プロジェクトの参加者数
・各種ガイド・インストラクターの人数
・観光による収入を得る事業者数

5年後の指宿のまちは、このような姿です

指宿にあるたくさんの『たから』は多くの人に知られるようになり、『たから』を気軽に楽しむためにやってくる人が増えました。『たから』の宝庫の指宿は、訪れるたびに新しい発見があることから、何度も繰り返し訪れる観光客が多いのが特徴です。

観光客の間で、「指宿に行くと心身ともにリフレッシュできて元気になる」と評判になり、観光入込客数は5年前に比べて増加しました。これに伴って宿泊する人も増えました。

指宿の農畜水産物などを使ったご当地グルメの開発も進み、いくつかは全国的にも知られています。これらを楽しんだり、指宿駅を拠点としたまち歩きや各種体験が評判になり、観光目的で中心市街地を歩く人が増え、また飲食店や小売店が新規開店して空き店舗も減少傾向にあり、往時のにぎわいが復活しつつあります。

アマチュアやプロを問わず、スポーツ等の合宿も増え、市民とこうした関係者との交流も盛んになっています。また、観光客に旗を振って歓迎する「いぶすき千本旗プロジェクト」に取り組む人や、出会った人に気持ちのいいあいさつや声掛けをする人などが増え、市民みんなで観光客をもてなすムードが、5年前よりも盛り上がっています。

このように、地元の身近な観光資源に気づいて行動を起こすことによって、多くの観光客を招くことができるようになり、観光客による消費が増えています。また、観光関係の事業者が増加し、雇用機会が創出されています。何よりも、観光を通じて地域に一体感が生まれ、活気と優しさにあふれたまちになりつつあります。

2 目標を達成するための基本的な柱の設定

ここでは、観光戦略ビジョンで掲げた目標達成に向けての基本的な柱を示します。

指宿市は、特色・強みである「温泉」、「自然」、「食」、「人」を生かした事業を展開するとともに、既存の事業や組織の磨き上げを行い、時代のニーズにあった戦略的な観光振興を図っていきます。

目標達成のための5つの柱

1 海洋ミネラルたっぷりの温泉

指宿市は、世界でも珍しい天然砂むし温泉をはじめ、市内のいたるところにある1,000を超える泉源から温泉が湧き出る国内有数の温泉地です。砂むし温泉以外にも、日本一の絶景露天風呂「たまた箱温泉」や西郷隆盛が湯治で長期滞在した「鰻温泉」、歴代島津家の当主が利用した「殿様湯」など、多彩な温泉を楽しむことができます。また、市内の温泉の多くは、海洋性の塩化物泉で、ミネラル（主にナトリウム）を多く含み、保温・保湿効果に優れ、美容や湯治に向いていると言われています。今後は、この指宿温泉の特徴を国内外にもっとPRすることや、温泉に運動や食をからめた体験プログラムを開発することにより、観光客の長期滞在を促進します。

2 温暖な気候と色濃い自然

指宿市は、薩摩半島の最南端に位置し、日本の中でも比較的温暖な気候に恵まれています。市の花である菜の花やハイビスカスに代表される四季折々の花々が市内各地で咲き誇り、市民や観光客の目を楽しませています。また、開聞岳に象徴されるように、指宿の樹木は紅葉、落葉するものが少なく、一年中濃い緑色をしています。また、温暖な気候を生かして、年間を通して作物（オクラ、ソラマメ、さつまいも、スナックエンドウ、南九州市の茶など）が栽培されているため、一年中、畑が緑で覆われているというのも特色の一つです。

今後は、これらの特色を生かした景観整備や観光地整備（ウォーキングやオルシ[※]、トレッキング、サイクリングコースの整備など）や体験メニューづくりを行うことにより、周遊型観光を推進します。

※ オルシ：韓国・済州島発祥のウォーキングコース。「家に帰る細い道」という意味で、人工物の少ない自然の道を歩く。平成24年3月に九州オルシとして導入され、現在8コースあるうちのひとつが「指宿・開聞コース」。

3 食の旬感体験

指宿市は、日本一の生産量を誇るオクラ、ソラマメ、鯉本枯節などをはじめとして、多くの農畜水産物を生産する食の宝庫です。しかしながら、そのことは県外ではほとんど知られておらず、また、地元の人にさえもあまり知られていません。

今後は、指宿市の豊かな食の魅力について、市民や観光客に広く情報発信を図るため、学校や家庭・地域での食育の推進や、市内ホテルや飲食店で地元産の旬の食材を使った料理の提供、県外でのPR強化（「指宿ブランド」の構築）等に努めます。また、豊富な食材等を生かした指宿らしいお土産や新たなご当地グルメの開発を行い、観光客が楽しめる環境づくりに努めます。

4 ハートフルな人柄

指宿市は、菜の花マラソンでのおもてなしや観光客に旗を振って歓迎する「いぶすき千本旗プロジェクト」など、温かい人柄や人と人との絆（協力体制）が強みです。心のこもったおもてなしは、観光客の心に感動を呼び、再度の来訪（リピーター化）が期待できます。逆に、ホテルやタクシーでの心ない言動やマナーの悪さは、クレームに直結し、観光地としての評価を下げることとなります。

また、指宿には、それぞれの分野で豊富な知識と経験に裏付けされた、「こだわり」を持った人材が豊富です。

今後は、市民一人ひとりのおもてなし気運とマナー・サービスの向上を図る取組みを推進するとともに、各種ガイドなどを含め、観光指宿を担う有能な人材を発掘・育成し、市民総ぐるみで「おもてなし先進市」を目指します。

5 変わらぬ観光、変わる観光

指宿市は、これまで、砂むし温泉を核とした温泉リゾート都市として発展してきました。また、菜の花マラソンや菜の花マーチ、フラフェスティバルなどのイベントは、南国特有の景観・温暖な気候にマッチしていることや地元のおもてなしなどが好評で、市内外から多くの参加者を集めています。

また、九州新幹線鹿児島ルート全線開業や観光特急「指宿のたまたま箱」運行開始により、指宿を訪れる観光客は増えています。しかしながら、観光のニーズは時代によって変わっていきます。したがって、こまめな情報収集や意見交換を行いながら、既存事業・組織の見直しや磨き上げも柔軟に行っていく必要があります。

今後、九州新幹線・「指宿のたまたま箱」効果を持続させ、さらに広げていくためには、多種多様な観点から観光振興について考察し、旅行形態の多様化や観光客のニーズを的確に捉えながら、特に女性の視点を意識しながら新たな観光地として発展していくことが必要です。

そのためにも近隣市町等との広域観光の推進やインターネット等を活用した情報発信の充実、国内観光客はもちろん東アジア圏域を主とした外国人観光客の誘致等を図り、『砂むしだけじゃない!! ^{みらいがたとうしば}美来型湯治場いぶすき』の実現を目指します。

Ⅳ アクションプランと具体的施策

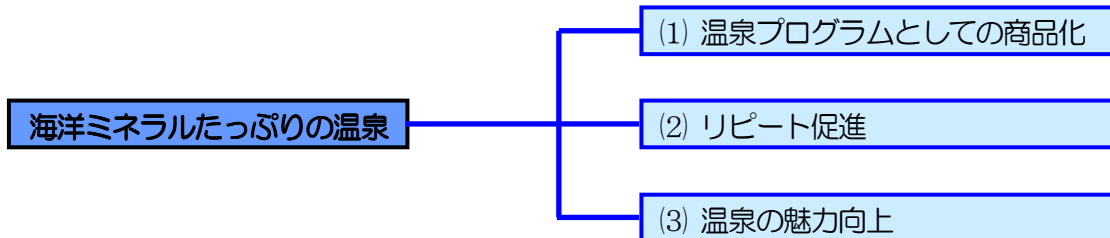
ここでは、目標達成のための柱に基づき、観光戦略ビジョンを具体化するためのアクションプランを19項目設定し、それぞれに具体的施策を掲げました。

指宿市観光戦略ビジョン施策体系図

目指す姿	目標達成のための柱	アクションプラン	具体的施策	
砂 む し だ け じ ゃ な い !! 美 来 型 湯 治 場 い ぶ す き	1 海洋ミネラルたっぷりの温泉	(1) 温泉プログラムとしての商品化	① 健康に対する意識改革 ② 湯治プランの作成・実施 ③ 温泉ガイドの養成	
		(2) リピート促進	① 湯治しやすい環境づくりの推進 ② 温泉パスポートの作成	
		(3) 温泉の魅力向上	① 砂むし温泉の利活用 ② 温泉の特徴を生かした新たな魅力の創出	
	2 温暖な気候と色濃い自然	(1) 観光スポットの環境整備		① 自然景観と調和した観光地の整備 ② 公共交通機関の利用促進 ③ 撮影ポイントの情報提供
				① ウォーキング・サイクリングロードの整備 ② 指宿の四季を生かした景観整備 ③ 休憩スポットの設置
		(2) 歩きたくなる街並みづくり		④ 安全・安心なまちづくりの推進
	3 食の旬感体験	(1) 食・特産品の充実		① 「温たまらん井」の活用・PRの強化 ② 新たなグルメの創出 ③ 指宿らしい土産品の開発とPR
				① 指宿の旬の食材を使ったヘルシーメニューの提供 ② 食育の推進 ③ 地産地消・地産全消の推進
		(2) 豊かな食資源のPR		① テイクアウトグルメの充実 ② 特典付きガイドブックの作成 ③ 食を楽しむイベントの定期開催
				④ 宿泊施設と飲食店との連携
		(3) 食を通じたまち歩きの推進		
	4 ハートフルな人柄	(1) おもてなしのまちづくり		① おもてなしの心の醸成と実践 ② 幼少期からの観光教育の推進 ③ 市民への情報提供の強化 ④ 利用しやすいトイレの充実
				① 接遇研修の充実 ② 人材リストの整理・活用 ③ ガイド組織の充実
(2) 指宿観光を担う人材の育成・活用			① 観光誘客イベントの開催 ② 市民講座の充実と観光客の参加促進 ③ 交流の拠点づくり	
			① 多様化する宿泊スタイルへの対応 ② 外国人観光客受入体制の充実	
(3) 市民と観光客との交流促進				
(4) お客様に合わせたサービスの提供				
5 変わらぬ観光, 変わる観光	(1) 官民一体となった推進体制の構築		① ビジョンの推進と進捗管理 ② 市内関係団体の連携強化	
			① 連泊・長期滞在につながる仕組みづくり ② 県や近隣市町などとの連携強化	
	(2) 広域観光の推進		① 体験プログラムの充実 ② インストラクターの育成	
			① IT環境の充実 ② 観光情報拠点の整備 ③ 現地情報の充実	
	(3) 体験型観光の推進		④ リアルタイムな情報提供の推進	
			① 玄関口としての環境整備 ② 周辺商店街のにぎわい創出	
	(4) 観光情報の一元化		① テーマ性を持たせた観光商品の開発 ② 指宿まるごと博物館構想の推進	
			① 現状把握と分析の強化 ② 旅行者の嗜好に合わせたプランニングの推進 ③ 旅行エージェントとの連携	
	(5) 指宿駅周辺の活性化		④ マスコミの有効活用	
	(6) 魅力の整理と磨き上げ			
	(7) ターゲットを意識した戦略的PR			

1 海洋ミネラルたっぷりの温泉

海洋ミネラルをたっぷり含んだ指宿温泉をさらにPRし、温泉に運動や食をからめた体験プログラム等の付加価値を付けることで、指宿の温泉の魅力向上を図るとともに、観光客の長期滞在を促進します。



(1) 温泉プログラムとしての商品化

健幸のまちづくりや指宿ヘルスツーリズムなどと連携して、温泉に食や運動、体験等の付加価値を付けた新たなプログラムを開発し、滞在型観光を積極的に推進します。

① 健康に対する意識改革

「みらいがたとうじば美来型湯治場いぶすき」をPRするためには、まず指宿市自体が健康で元気なまちであることが必要です。

このため、市民への啓発を図りながら、観光客と市民が「体も心も健康でキレイになれるまち」の実現を目指します。



② 湯治プランの作成・実施

ミネラルを多く含み、美容や健康への効能に優れた指宿の温泉に、食、運動などからめた新たな湯治プログラムを開発し、「指宿でしか味わえない癒し」を観光客に体感してもらうことで、長期滞在を促進します。



③ 温泉ガイドの養成

温泉にただ入るだけでなく、その温泉に適した入浴方法や歴史、効能などを知ってもらい、指宿の温泉をさらに楽しんでもらうことで、指宿温泉のファンが増えると考えます。

このため、温泉ガイドを養成して指宿温泉の魅力の向上に努めます。



(2) リピート促進

温泉入浴料の割引や特典などの付加価値を付けることで、湯治をしやすい環境や指宿の温泉を巡る楽しさを提供してリピート促進を図ります。

① 湯治しやすい環境づくりの推進

湯治目的の方の長期滞在に対し、宿泊施設や温泉施設と連携して、施設の割引や特典制度を導入し、湯治を行いやすい環境づくりを推進します。



② 温泉パスポートの作成

市内にある多種多様な温泉を巡って楽しんでもらうため、温泉パスポートを作成し、スタンプラリーや飲食店との連携による特典制度を実施します。



(3) 温泉の魅力向上

単に温泉に入るだけでなく、砂むしをはじめとした豊富な温泉の特徴や効能、歴史等をPRし、食や運動、美容などを取り入れたプログラムを開発して、温泉の新たな魅力向上に努めます。

① 砂むし温泉の利活用

砂むしにただ入って楽しむだけの従来型に、アロマセラピー^{※1}や運動などを取り入れた美容・健康プログラムを開発するとともに、女性向けの新たなサービスを導入して、砂むし温泉の更なる魅力向上を図ります。



② 温泉の特徴を生かした新たな魅力の創出

指宿温泉の特徴である「保温効果の高い塩化物泉」や、「保湿効果に優れ、美肌効果があるといわれる“メタケイ酸”^{※2}を多く含む」ことなどをさらにPRするため、温泉の泉質や効能、歴史等を冊子にまとめて情報を提供します。

また、これら温泉成分の特徴を生かした新たな商品を開発して、指宿温泉の新たな魅力を創出します。

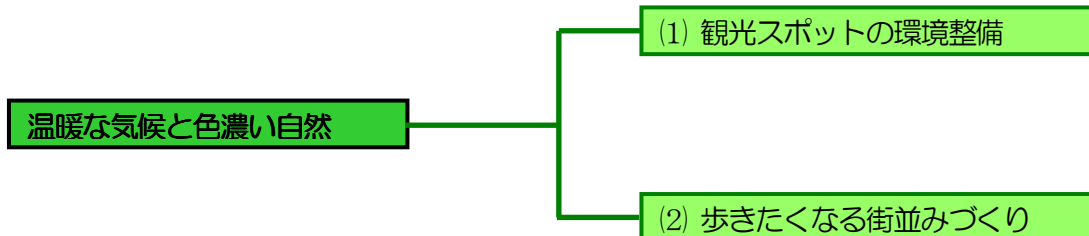


※1 アロマセラピー：植物の香りやさまざまな動きの力によって、心や身体のトラブルを穏やかに回復し、健康増進や美容に役立てていこうとする自然療法。

※2 メタケイ酸：温泉に含まれる成分の1つでケイ素と酸素、水素の化合物。天然の保湿成分といわれ、一般的に温泉水1kg中にメタケイ酸が50mg以上含まれていれば美肌効果のある温泉といわれ、100mg以上であれば「美人の湯」といわれている。

2 温暖な気候と色濃い自然

南国特有の温暖な気候と、南方系の植物や四季折々の美しい花々、海・山や古き良き田園風景など、色濃い自然そのままの良さを生かした観光地づくりに取り組みます。



(1) 観光スポットの環境整備

南国指宿の温暖な気候と、年間を通して緑や赤、黄色など色濃い自然をそのままに生かした観光スポットの環境整備や新たな観光コースの創出に努めます。

① 自然景観と調和した観光地の整備

恵まれた自然景観のそのままの良さを生かした環境整備やテーマ性のある新たな観光コースの設定を図ります。
また、地域や職場ぐるみの清掃活動など、環境美化にも積極的に取り組みます。



② 公共交通機関の利用促進

観光客の利便性向上のため、公共交通機関やタクシー、レンタサイクルなどの二次交通の整備や利用しやすくなるような条件整備等を図りながら、乗ること自体に楽しみやお得感を持てるような仕組みづくりに取り組みます。



③ 撮影ポイントの情報提供

写真は単なる記念だけでなく、撮ること自体を楽しんだり情報発信のツールとなるなど様々に活用されています。
このため、撮影スポットを集約・発信することによって、お客様の満足度向上や情報発信の拡大につなげます。



(2) 歩きたくなる街並みづくり

恵まれた色濃い自然や温泉，食，歴史などを体感しながら，散策することによって心身ともにリフレッシュできるような，歩きたくなる街並みづくりを推進します。

① ウォーキング・サイクリングロードの整備

指宿の自然や歴史等を楽しみながら，かつ安全にウォーキングやサイクリングができるような環境整備に努めます。



② 指宿の四季を生かした景観整備

観光客を温かく迎えるために，季節ごとの花々や南国特有のブーゲンビリア・ハイビスカスなどを生かした景観づくりに取り組みます。



③ 休憩スポットの設置

指宿の自然や温泉を好みのペースでゆっくり楽しめるよう，ベンチや木陰など，散策中に一息つけるようなスポットの充実に努めます。



④ 安全・安心なまちづくりの推進

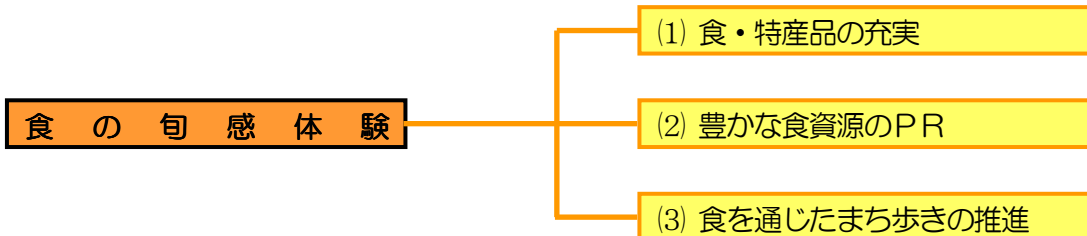
観光客が安全にまち歩きを楽しめるよう，街路灯の充実や段差解消などに努めます。

また，初めての人でも安心して歩けるよう，案内の充実を図ります。



3 食の旬感体験

生産量日本一を誇るオクラやソラマメをはじめとする豊かな食の魅力について、広く情報発信を図るため、学校や家庭・地域での食育の推進やホテル・飲食店での地元産の食を使った料理の提供、市内外でのPR強化に努めます。また、指宿らしい土産品や体験メニューの開発を行い、お客様が指宿の食の魅力を楽しめる環境づくりに努めます。



(1) 食・特産品の充実

食は、旅行の目的の大きな要素でもあることから、指宿ならではの食材を使ったメニューや特産品を充実させ、食べておいしい、買ってうれしい食の提供に努めます。

① 「温たまらん丼」の活用・PRの強化

指宿のご当地グルメである「温たまらん丼」を幅広く楽しんでもらうため、女性やお年寄り・子どもにも食べやすいミニ丼やデザートセットなど新たなスタイルの提供に努めます。

また、市内全域への店舗拡大や市内外でのPR強化により、更なる知名度向上を目指します。



② 新たなグルメの創出

オクラ・カツオ・マンゴーをはじめとした指宿の豊富な食資源を知ってもらうため、指宿らしい食材を使用した新たなご当地グルメ・スイーツを開発し、食による魅力創出や何度も指宿を訪れたいくなるきっかけづくりとなるよう努めます。



③ 指宿らしい土産品の開発とPR

土産品は旅行の楽しみのひとつといえます。指宿の特徴を生かして、観光客の心をつかめるような指宿定番の土産品を開発し、観光客の満足度向上や地元産業の活性化に努めます。



(2) 豊かな食資源のPR

指宿では、年間を通じて豊かな食が育まれています。生産するだけでなく、お客様の手に届きやすい仕組みづくりや商品開発を推進することで、指宿の食の魅力発信に努めます。

① 指宿の旬の食材を使ったヘルシーメニューの提供

指宿を訪れる方に体も心も健康でキレイになってもらうため、地元産の旬の食材を使った美味しくて体にやさしいメニューを市内飲食店や宿泊施設で充実させ、「みらいがた美来型とうじば湯治場いぶすき」の推進を図ります。



② 食育の推進

単に食べるだけでなく、市内飲食店や宿泊施設で提供する食事の栄養価や効能、カロリー等の情報を提供することで、指宿の食に対する付加価値を付けるとともに、食に対する理解を深めます。



③ 地産地消・地産全消の推進

全国に誇れる指宿の食を市内外に広めるため、地元食材の積極的な使用や市外への販路拡大を図り、特産品の指宿ブランド化を推進します。



(3) 食を通じたまち歩きの推進

指宿ならではの食を楽しむきっかけとなるような、手軽でお得な商品やイベントを充実させ、まち歩きを推進するとともに、商店街の活性化に努めます。

① テイクアウトグルメの充実

散策しやすい雰囲気を出るため、スイーツやお惣菜などを手軽に味わえるグルメを充実させ、まち歩きの促進や散策時間の延長に努めます。



② 特典付きガイドブックの作成

初めて来ても安心してお店を利用できるように、飲食店や商店を散策できるマップや、クーポンなどでお得に指宿の食を楽しむガイドブックを作成し、周遊観光の促進と商店街の活性化を図ります。



③ 食を楽しむイベントの定期開催

指宿の食を知ってもらうきっかけとなるよう、食を楽しむイベントを定期開催し、指宿の食のPRや関係者の意欲向上に努めます。



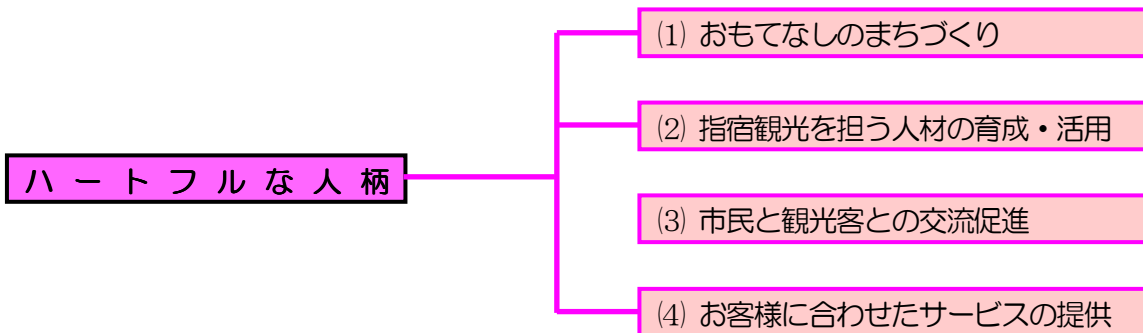
④ 宿泊施設と飲食店との連携

より多くの味や人にふれ、指宿のまちを感じてもらうため、宿泊施設と飲食店が連携し、宿泊客がまちに出やすい仕組みをつくり、観光ニーズへの対応と地域活性化を図ります。



4 ハートフルな人柄

温泉・自然・食と並んで「人のあたたかさ」も指宿の大きな魅力です。市民が積極的に観光に関わることでできるまちを目指すとともに、人とのつながり・絆が注目されている今、ここにしかない思い出のひとつとして、観光客と市民の交流を推進します。



(1) おもてなしのまちづくり

旗を振っての歓迎や元気なあいさつ、菜の花マラソンでのふるまいなど、指宿市民には「おもてなし」の心が根付いています。観光のまちに暮らすことへの意識を高め、観光客が気持ちよく過ごせるまちづくりを推進します。

① おもてなしの心の醸成と実践

市民総出でお客様を迎え入れるため、気持ちよいあいさつや歓迎の旗振り、地域の清掃など誰にでもできることから取り組み、おもてなしのまちとしての気運を高めます。



② 幼少期からの観光教育の推進

観光のまちに生まれ育つことへの関心や誇りを育てるため、学校や地域でのおもてなし・観光学習、宿泊・観光施設での職場体験を実施し、観光意識の向上や観光人材の育成に努めます。



③ 市民への情報提供の強化

市民にも指宿の魅力を知ってもらうため、広報紙やホームページ、フェイスブック等を通じて、旬の観光情報発信を強化し、指宿に対する郷土愛の醸成、市民による情報発信の拡大に努めます。



④ 利用しやすいトイレの充実

トイレの印象はその施設、まちの印象につながると言っても過言ではありません。

観光客が気持ちよく安心して利用できるよう清掃やバリアフリー・子育て支援などトイレ環境を改善するとともに、案内機能を充実させ、イメージの向上や快適な観光地づくりに努めます。



(2) 指宿観光を担う人材の育成・活用

選ばれる観光地になるためには、自然・施設の魅力だけでなく、丁寧なサービスや魅力を伝えるガイドなどが不可欠です。このため、観光従事者をはじめ、市民も含めた観光人材の充実を図ります。

① 接客研修の充実

おもてなしのまちとして、お客様に合わせたきめ細かなサービスを提供するため、宿泊施設や交通機関など直接観光客に対応する機会が多い関係者の接客レベルを高め、お客様の満足度向上に努めます。



② 人材リストの整理・活用

地域の方々の知識・技術を観光に生かし、充実した観光プログラムを提供するため、専門の知識・技術を有する人材のリストアップを行い、ガイド・インストラクター・通訳等の育成や活用に努めます。



③ ガイド組織の充実

観光ガイドをより活用するため、研修会や接客講習会を充実させ、お客様のニーズに合った案内を提供するとともに情報発信の強化や利用しやすい仕組みづくりに努めます。



(3) 市民と観光客との交流促進

地域の人とのふれあいは、思い出として深く記憶に残ります。自然や食だけでなく、「人」を通じて指宿の魅力を伝えるとともに、市民にも指宿の魅力を感じてもらえるよう交流の機会を創出します。

① 観光誘客イベントの開催

地域経済の活性化や観光PRが期待出来るイベントを実施するため、毎年、内容や体制を精査し、観光誘客に効果的な企画・運営・PRに努めます。



② 市民講座の充実と観光客の参加促進

市民にも観光客にも指宿の文化を感じてもらうため、フラダンスや郷土料理など指宿ならではの講座を充実させるとともに、観光客も参加できる体制を整え、指宿らしさを生かした交流の推進に努めます。



③ 交流の拠点づくり

地域の人とのふれあいも観光の楽しみのひとつであることから、指宿駅前や砂むし会館周辺など人が集まる場所に交流できるスポットを創出するとともに、イベントの開催など、行きたくなる仕掛けづくりに努めます。



(4) お客様に合わせたサービスの提供

個人・グループ旅行の増加に伴い、旅行のスタイルが多様化し、また、インターネットによる情報の普及や交通アクセスの利便性向上により、海外からの観光客も増加しています。

このため、少しでも多くの要望に応えられるよう、充実したサービスの提供を推進します。

① 多様化する宿泊スタイルへの対応

インターネットでの予約が普及し、宿泊プランも女性専用、泊食分離など多様化していることから、時代やお客様の様々なニーズに合わせた柔軟な対応に取り組み、宿泊施設の利便性向上に努めます。



② 外国人観光客受入体制の充実

指宿には国内だけでなく、アジアを中心とした海外からも多くのお客様が訪れています。

これらのお客様に安心して観光を楽しんでもらうため、看板・パンフレット等の外国語表記や外国語対応のできるスタッフの充実を図るとともに、各国の文化や習慣を理解し、外国人にもやさしい観光地づくりを推進します。



5 変わらぬ観光, 変わる観光

指宿特有の自然や歴史、伝統、文化など、「あるがままの良さ」を最大限に生かしつつも、時代によって変わる観光ニーズを的確に把握しながら、既存事業の見直しや新たな事業展開に積極的に取り組みます。



(1) 官民一体となった推進体制の構築

ビジョンを計画的に推進していくため、民間（市民、観光関係団体等）と行政が一体となった運営組織を構築するとともに、関係者同士の情報共有や連携強化を図ります。

① ビジョンの推進と進捗管理

民間と行政が一体となった「観光戦略ビジョン推進委員会（仮称）」の設置と定期開催により、ビジョンの進捗状況を管理し、計画的な推進に努めます。



② 市内関係団体の連携強化

ビジョンを効果的かつスムーズに実現するため、関係団体の実施事業等の情報共有に努めます。

また、類似した事業の一本化、新規事業の共同展開など相互連携しながら、効率的かつ発展的な事業展開を図ります。



(2) 広域観光の推進

指宿周辺は、雄大な自然が広がる大隅半島、ロケット基地のある種子島、世界自然遺産の屋久島と船で結ばれており、また、日本一の茶畑をもつ知覧・穎娃地域、美しい海岸線を誇る坊津・笠沙地域、カツオのまち・枕崎などが西部にあり、北部の県都・鹿児島市を含め、どのエリアへも指宿から1～2時間で行くことができます。

これらの周辺地域が持つ指宿とは異なる魅力を、体験プログラムや観光ルートに組み入れることで、指宿を拠点とした滞在型観光を推進します。

① 連泊・長期滞在につながる仕組みづくり

指宿を拠点としたテーマ性のある広域観光ルートを構築することで、それぞれの良さを融合させた新たな魅力を創出し、多様化するニーズに応えていくことで、連泊や長期滞在を促進します。



② 県や近隣市町などとの連携強化

観光客は市境にとらわれず旅行することから、県や近隣市町などと相互に情報を共有し、自治体の枠を越えた広域的な連携を強化します。



(3) 体験型観光の推進

みらいがたとうじば
「美来型湯治場いぶすき」を観光客に気軽に楽しんでもらうため、指宿の強みである「温泉」、「自然」、「食」、「人」などの資源を活用し、健康や美容につながる体験プログラムの充実や、それらを実践するインストラクターの育成に努めます。

① 体験プログラムの充実

指宿の特徴を生かしながら、観光客が気軽に楽しめる少人数向け体験プログラムや、教育旅行をターゲットとした団体型体験プログラムの充実を図ります。



② インストラクターの育成

指宿の温泉や自然、食、歴史などの観光資源の知識や技術を観光客目線で提供できるインストラクターの育成を図ります。



(4) 観光情報の一元化

観光客が求める情報をより簡単に、よりわかりやすく提供するため、市内の様々な団体が行っている観光事業や活動等の情報を一元化し、広報紙やインターネット等を活用した市内外への情報発信の強化に努めます。

① IT 環境の充実

誰でも無料でインターネットに接続できるWi-Fi^{※1}スポットを拡充するとともに、駅やホテル、飲食店、観光施設等におけるインターネット環境の充実を図ります。



② 観光情報拠点の整備

市内や近隣市町村等の関係機関と連携して、観光・交通情報の収集と発信窓口の一本化に努め、「ここに来れば指宿観光のすべてがわかる」プラットフォーム^{※2}（観光・交通情報の拠点）を整備します。



③ 現地情報の充実

指宿を訪れた観光客が不自由なく観光できるよう、飲食店の営業時間や施設の開館時間、バス・JR の時間などの情報を収集・共有し、案内所だけでなく情報が入る環境をつくります。



④ リアルタイムな情報提供の推進

観光ホームページやフェイスブック、ツイッター、メールマガジン、広報紙等を通じて、観光客や関係団体、市民へ最新情報を随時発信します。



※1 Wi-Fi：米国の業界団体 Wi-Fi アライアンスが機器間の相互接続性を認定した無線 LAN アダプターのブランド名。無線 LAN とは、赤外線や電波による無線通信を利用した構内通信網。

※2 プラットフォーム：本来は人が乗り降りする駅などのホームを意味するが、ここでは、各種体験や地元産品などその地域ならではの観光資源を活用した旅行商品を販売するため、地元の観光関係事業者と旅行者・旅行会社をつなぐワンストップ窓口としての機能を担う事業体を意味する。

(5) 指宿駅周辺の活性化

指宿の玄関口として多くの観光客が利用する指宿駅周辺は、観光客にとって指宿の第一印象を決める重要な場所です。指宿駅周辺の環境整備や周辺商店街のにぎわいを創出することで、観光客の利便性向上と指宿のイメージアップにつなげ、観光客のリピーター化を促進します。

① 玄関口としての環境整備

指宿駅構内及び周辺の景観づくりや美化、観光・交通案内の充実に加え、心のこもったおもてなしの実践により、指宿を訪れた観光客が気持ちよく駅を利用できる環境づくりに努めます。



② 周辺商店街のにぎわい創出

店舗間の連携を強化するとともに、商店街を歩きたくなるような仕掛け、雰囲気づくり、統一感やストーリー性のある通りの形成に官民一体となって取り組み、駅周辺の活性化を図ります。



(6) 魅力の整理と磨き上げ

指宿には、砂むし温泉や知林ヶ島など、世界に誇れる数多くの資源があります。これらの資源の魅力を整理し、「あるがままの良さ」を市内外に向けて発信するとともに、健康や美などをからめたテーマ性のある新たな観光商品の開発に取り組めます。

① テーマ性を持たせた観光商品の開発

素材の良さを生かしつつ、それにテーマ性や時代のトレンドを組み合わせた魅力的な着地型観光商品の開発に努めます。



② 指宿まるごと博物館構想の推進

指宿市内にある観光資源の魅力発掘と活用、市内外へのPR強化を図ります。また、「いぶすき検定」や市民講座等を通じて市民の知識の向上や郷土愛の醸成を図ります。



(7) ターゲットを意識した戦略的 PR

「砂むしだけじゃない!! ^{みらいがたとうじば}美来型湯治場いぶすき」の魅力を広く、効果的に発信するため、性別や年代、地域など多種多様な観点から観光振興について考察するとともに、旅行形態の多様化や観光客のニーズを的確に捉え、特に女性の視点を意識しながら戦略性のある PR に努めます。

① 現状把握と分析の強化

観光統計やモニターツアー等を活用した現状把握と各方面からの情報収集を行い、それらをベースとした分析結果を観光施策に反映させます。



② 旅行者の嗜好に合わせたプランニングの推進

ターゲット（女性や親子など）やテーマ（鉄道や歴史など）を意識したプランニングの推進を図ります。

また、温暖な気候や温泉を生かしてスポーツ合宿の誘致などにも取り組めます。



③ 旅行エージェントとの連携

旅行エージェントの商品企画担当者に最新の観光情報をいち早く提供するとともに、旅行エージェントからも観光動向の聞き取りを行うなど、相互連携の強化により、観光客を飽きさせない魅力的な旅行商品を企画し、指宿への誘客を図ります。



④ マスコミの有効活用

指宿の PR を効果的に行うため、テレビ、ラジオ、インターネット、新聞、雑誌等を通じた広報・宣伝を充実させるとともに、テレビ・映画等への積極的な取材協力や報道機関への迅速かつ正確な情報提供に努めます。



V ビジョンの推進体制

観光戦略ビジョンの実現に向けて、官民一体となった組織体制を構築し、話し合いを重ねながら、それぞれの役割に応じた取組みを計画的に実施します。

1 指宿の魅力、強みを生かせる観光体制づくり

「砂むしだけじゃない!! ^{みらいがたとうじば}美来型湯治場いぶすき」の推進に向けて、情報収集・発信、プロジェクトの企画や調整、人材育成などの多様な取組みを進めるために、市や観光協会などが連携した推進体制を構築します。

さらに、指宿の強みと特色を生かした観光施策を展開するため、国や県、近隣市町等、企業・商工会議所等の経済関係、農林水産業関係、教育関係、さらに市民や地域団体、NPOなどと連携し、「オールいぶすき」で観光振興に取り組みます。



2 実施体制の明確化

ビジョンの推進にあたっては、市民、観光関連事業者、観光協会、行政などが役割を認識し、お互いの立場を尊重しながら、それぞれの分野で力を出し合うような協力体制のもとに進めていくことが必要です。

市民や市民団体は、「オールいぶすき」の中心として、指宿観光の活性化に向けて積極的に取り組み、観光関係事業者や観光関係団体は、施策の実施に向けた提案を積極的に出し合うとともに、互いに協力しながら、企画・実施に取り組みます。

また、観光協会は、観光関連事業者や行政等と連携しながら、施策を推進し、誘客、宣伝における専門的組織としての役割を担います。

一方、行政は、ビジョンの推進役として、市民や観光関連事業者等が力を存分に発揮できるような環境づくりを行うとともに、市役所内の連携や国、県、他自治体等行政間の連携を強化します。

このように、市民、観光関連事業者、観光協会、行政などがそれぞれの役割を担いながら、協働して観光振興に取り組んでいくことができる柔軟な体制づくりを行うことにより、ビジョンを推進していきます。

ビジョンを推進する上で、市民や関係団体等がそれぞれの役割を担い、責任を持ち、ともに力を合わせて取り組むために、次のとおり「実施体制」と「達成時期の目標」を定めました。

実施団体等：◎は、その施策の中心となって取り組む団体等、○は、連携・協力して取り組む団体等
を表します。

達成目標：短期は、おおむね3年間を目途に達成し、その後も継続して取り組みます。長期は、計
画・準備などに一定の期間を要することから、5年間での達成に向けて取り組みます。

実施体制一覧

目標達成のための柱	アクションプランと具体的施策	実施団体等								達成目標	
		市民	指宿市	指宿市観光協会	商工会議所・商工会	ホテル・旅館業者	飲食業者・商店	農林水産業者	交通機関	観光関係団体	短期（H25～H27）
1 海洋ミネラルたっぷりの温泉	(1)温泉プログラムとしての商品化										
	①健康に対する意識改革	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	
	②湯治プランの作成・実施		○	◎		○				○	○
	③温泉ガイドの養成	○	○	◎		○				◎	○
	(2)リピート促進										
	①湯治しやすい環境づくりの推進		◎	○		○					○
	②温泉パスポートの作成		◎	○	○	○	○			○	○
	(3)温泉の魅力向上										
	①砂むし温泉の利活用	○	○	○		○				◎	○
	②温泉の特徴を生かした新たな魅力の創出	○	◎	○		○				◎	○
2 温暖な気候と色濃い自然	(1)観光スポットの環境整備										
	①自然景観と調和した観光地の整備	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	
	②公共交通機関の利用促進	○	○	◎	○				◎	○	○
	③撮影ポイントの情報提供	○	◎						○		○
	(2)歩きたくなる街並みづくり										
	①ウォーキング・サイクリングロードの整備	○	◎	○	○	○	○	○	○		○
	②指宿の四季を生かした景観整備	○	◎	○	○	○	○	○	○		○
	③休憩スポットの設置	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	
④安全・安心なまちづくりの推進	○	◎	○	○	○	○	○	○		○	
3 食の旬感体験	(1)食・特産品の充実										
	①「温たまらん井」の活用・PRの強化	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○
	②新たなグルメの創出		○	○	○		◎	◎		◎	○
	③指宿らしい土産品の開発とPR	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○
	(2)豊かな食資源のPR										
	①指宿の旬の食材を使ったヘルシーメニューの提供		○	○	○	○	◎	○		◎	○
	②食育の推進	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	
	③地産地消・地産全消の推進	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	
	(3)食を通じたまち歩き推進										
	①テイクアウトグルメの充実	○	○	○	○		◎	○		◎	○
②特典付きガイドブックの作成	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	
③食を楽しむイベントの定期開催	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	
④宿泊施設と飲食店との連携		○	○	○	◎	◎		◎		○	

実施体制一覧

目標達成のための柱	アクションプランと具体的施策	実施団体等								達成目標		
		市民	指宿市	指宿市観光協会	商工会議所・商工会	ホテル・旅館業者	飲食業者・商店	農林水産業者	交通機関	観光関係団体	短期	長期
											(H25)	(H29)
4 ハ ー ト フ ル な 人 柄	(1)おもてなしのまちづくり											
	①おもてなしの心の醸成と実践	○	○	◎	○	○	○	○	○	○		
	②幼少期からの観光教育の推進	○	○	◎	○	○	○	○	○	○		
	③市民への情報提供の強化	○	○	◎	○	○	○	○	○	○		
	④利用しやすいトイレの充実	○	◎	◎	○	○	○		○		○	
	(2)指宿観光を担う人材の育成・活用											
	①接遇研修の充実		○	◎	◎	○	○		○	○	○	
	②人材リストの整理・活用	○	◎	○	○					◎	○	
	③ガイド組織の充実		○	◎						◎	○	
	(3)市民と観光客との交流促進											
	①観光誘客イベントの開催	○	○	◎	◎	○				◎	○	
	②市民講座の充実と観光客の参加促進	○	◎	○						◎	○	
	③交流の拠点づくり	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(4)お客様に合わせたサービスの提供											
	①多様化する宿泊スタイルへの対応			◎		○				○	○	
	②外国人観光客受入体制の充実	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	
5 変 わ ら ぬ 観 光 、 変 わ る 観 光	(1)官民一体となった推進体制の構築											
	①ビジョンの推進と進捗管理	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	
	②市内関係団体の連携強化		○	◎	◎	○	○	○	○	◎	○	
	(2)広域観光の推進											
	①連泊・長期滞在につながる仕組みづくり		○	◎	○	○	○	○	○	○	○	
	②県や近隣市町などとの連携強化		◎	◎						○	○	
	(3)体験型観光の推進											
	①体験プログラムの充実	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○	
	②インストラクターの育成	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○	
	(4)観光情報の一元化											
	①IT環境の充実		◎	○	○	○	○		○		○	
	②観光情報拠点の整備	○	◎	◎	○	○	○	○	○		○	
	③現地情報の充実	○	○	◎	○	○	○	○	○		○	
	④リアルタイムな情報提供の推進	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	
	(5)指宿駅周辺の活性化											
	①玄関口としての環境整備	○	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	
②周辺商店街のにぎわい創出	○	◎	○	◎	○	○	○	○	◎	○		
(6)魅力の整理と磨き上げ												
①テーマ性を持たせた観光商品の開発		○	◎	○	○	○	○	○	◎	○		
②指宿まるごと博物館構想の推進	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○		
(7)ターゲットを意識した戦略的PR												
①現状把握と分析の強化		○	◎						◎	○		
②旅行者の嗜好に合わせたプランニングの推進		○	◎	○	○	○	○	○	◎	○		
③旅行エージェントとの連携		○	◎							○		
④マスコミの有効活用	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○		

1 県外居住者の旅行ニーズ

平成23年度に鹿児島県が九州・山陽新幹線沿線都市住民を対象に実施したアンケートの結果によると、県外回答者の鹿児島県のイメージは「食」、「自然」、「温泉」が上位を占めており、健康・美容につながる内容となっています。

また、県外回答者の37.1%が“鹿児島県の健康増進を目的とした旅行”へ「参加したい」と回答し、回答者の75.8%が「美容を目的とした旅行歴がある」、または「旅行の意向がある」と回答しています。美容や健康増進で興味があることについては、「ウォーキング」が52.2%と最も多く、次いで「岩盤浴・溶岩浴」（49.6%）、「森林浴」（40.7%）と続いています。

さらに、県外50歳代以上の65.9%が“美容を目的とした旅行”に行ったことがある、または行ってみたいと回答しています。これらの結果から、指宿を訪れる割合の高い「女性」や「中高年層」（P9参照）は、健康・美容に対する関心が高いことがうかがえます。

このため、健康・美容の要素を盛り込んだ「^{みらいがたとうじば}美来型湯治場いぶすき」を創出することによって、旅行者のニーズに合致した指宿ならではの観光プランを提案することができます。

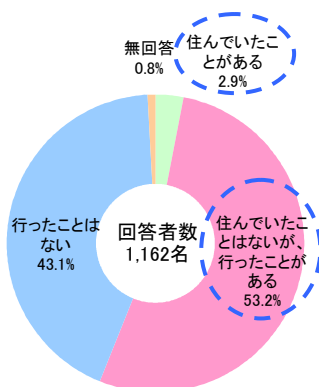
【平成23年度ニューツーリズム創出事業アンケート結果（一部抜粋）】

- 回答者の属性：新幹線沿線主要都市の居住者 1,162人
 （関西地域：830人、中国地域：181人、福岡県：151人）
 ※関西地域：京都府、大阪府、兵庫県 ※中国地域：岡山県、広島県

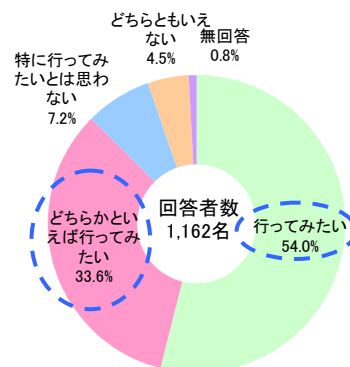
■鹿児島県への来訪意向、鹿児島県のイメージ

- ◎県外回答者の過半数（56.1%）が鹿児島県への来訪歴（居住歴含む）があります。
 ◎県外回答者の87.6%と9割近くが「鹿児島県へ行ってみたい」と思っています。
 ◎県外回答者の鹿児島県のイメージは「食」、「自然」、「温泉」であり、健康・美容につながる内容となっています。

○鹿児島県への来訪歴

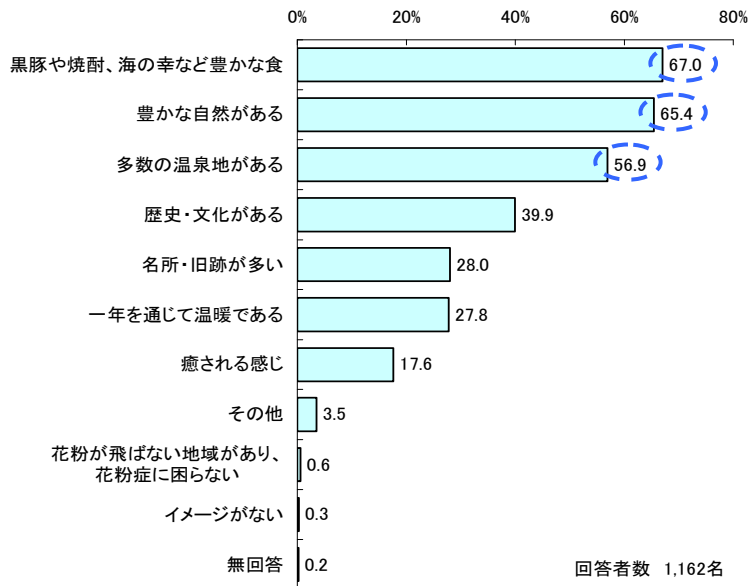


○鹿児島県への来訪意向



【平成23年度ニューツーリズム創出事業アンケート結果（一部抜粋 続き）】

○鹿児島県のイメージ

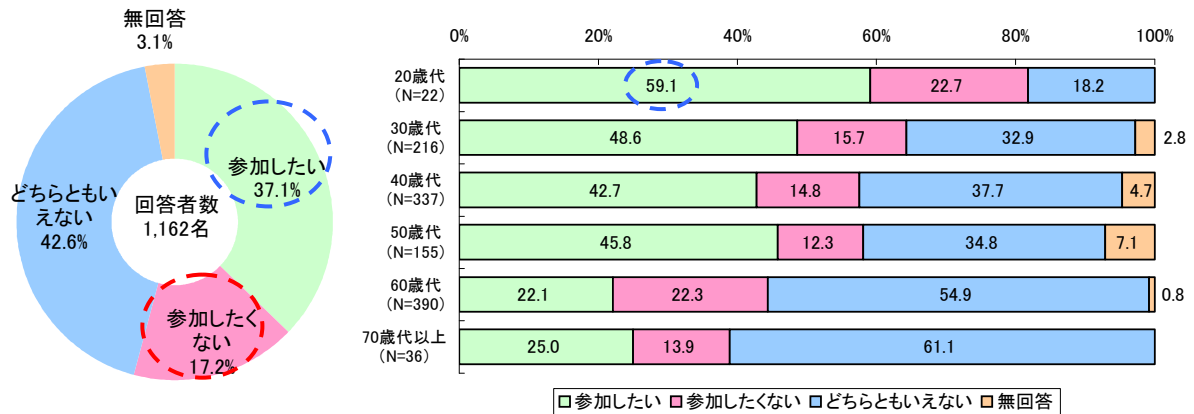


■鹿児島県の健康増進を目的とした旅行※への参加意向

※ アンケートでは温泉など健康増進施設の利用と鹿児島への観光旅行のセットと説明

◎県外回答者の37.1%が“鹿児島県の健康増進を目的とした旅行”へ「参加したい」と回答し、20歳代から50歳代までの参加意向が高い。

○健康増進を目的とした旅行への参加意向



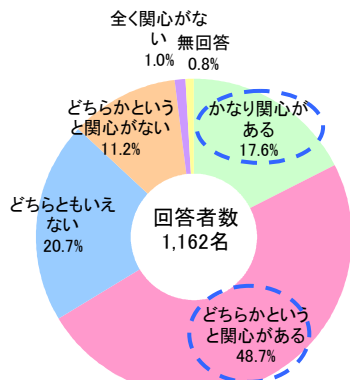
【平成23年度ニューツーリズム創出事業アンケート結果（一部抜粋 続き）】

■美容への関心度、美容目的の旅行歴、美容・健康増進で興味があること

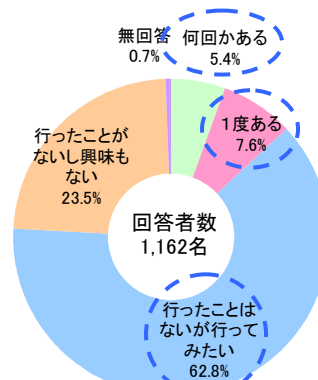
◎県外回答者の66.3%が美容への関心を示しており、回答者の75.8%が美容を目的とした旅行歴がある、または、旅行の意向がある。特に、県外の50歳代以上でその傾向が顕著となっており、県外50歳代以上の28.6%が“鹿児島県の健康増進を目的とした旅行”へ参加したいと回答しています。

◎美容や健康増進で興味があることについて、「ウォーキング」が52.2%と最も多い。

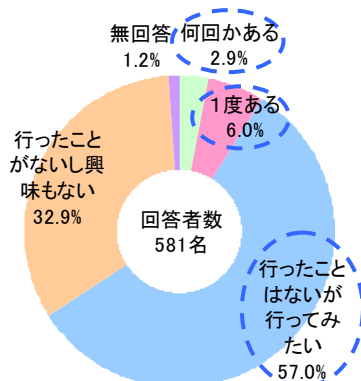
○美容への関心度



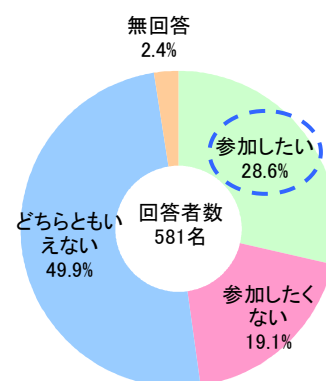
○美容目的の旅行歴



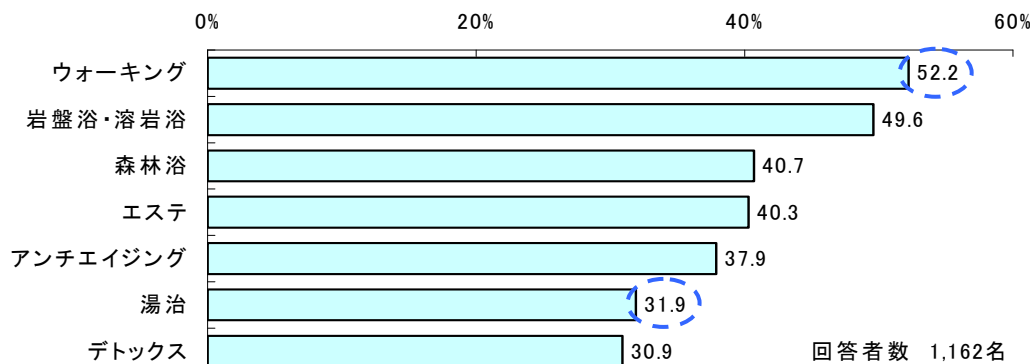
○美容目的の旅行歴
(県外50歳代以上)



○健康増進を目的とした旅行への意向
(県外50歳代以上)



○美容・健康増進で興味があること（※回答が30%を超えた項目のみ掲載）

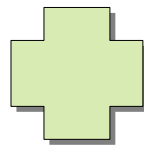


2 指宿における^{みらい}美来型観光資源

指宿は県外回答者の鹿児島県に対するイメージで挙げられた「食」、「自然」、「温泉」に恵まれているほか、いぶすき菜の花マラソンに代表されるスポーツ・イベントの開催も盛んです。また、市民も観光客も健康で幸せに暮らせる「健幸のまちづくり」も推進しています。

これらの観光資源を、「健康」・「美」・「癒し」といった切り口で磨き上げることによって、指宿ならではの「^{みらいがたとうじば}美来型湯治場いぶすき」を創出していきます。

指宿における^{みらい}美来型観光資源



人

市民 行政 観光関係団体 ガイド 農林水産業者 観光客 など

(1) 温泉資源

指宿の観光資源である、世界的にも珍しい天然砂むし温泉は、国内外から年間約 27 万人もの観光客が訪れています。また、泉源が 1,000 を超えるといわれる指宿温泉は、観光経済新聞が旅行会社を対象に実施した「第 26 回にっぽんの温泉 100 選」(平成 24 年 12 月)において、全国 5 位にランクインしており、温泉地として高い評価を得ています。

①砂むし温泉

砂むしを用いた湯治は約 300 年前から行われ、「三国名勝図会」(天保 14 年)にもその効能が記されています。明治から昭和にかけての農閑期は、指宿周辺のみならず、全国各地からの湯治客で賑わい、湯治宿が立ち並んでいました。与謝野鉄幹・晶子夫妻も訪れ、砂むしにちなんだ歌を詠んでいます。

昭和 60 年には、鹿児島大学医学部リハビリテーション科の田中信行教授(現名誉教授)が調査を行い、血液循環の促進や深部体温の上昇などに効果があることが実証されました。市内における砂むし温泉施設は、砂むし会館「砂楽」、山川砂むし温泉「砂湯里」のほか、複数の宿泊施設が独自に設置しています。

砂むし会館「砂楽」周辺の海岸から水蒸気が立ち上る様子は他の地域で見ることができない光景であり、天然の砂むし温泉は指宿でなければ体験できない資源です。

②温泉

市内における多くの温泉の泉質はナトリウム塩化物泉であり、その温泉水の源は、単なる海の水が温められたものではなく、古代の海水(化石海水)が源泉であるといわれています。さらに、指宿温泉はメタケイ酸含有量が多く、「美人の湯」ともいわれています。

なお、多くの温泉がナトリウム塩化物泉であるなか、鱈温泉は硫黄化物泉となっており、指宿では 2 つの泉質を楽しむことができます。

市内には公衆浴場も多く点在し、長期滞在しながら温泉に通い、湯治をされる方もいます。

【指宿温泉の泉質およびメタケイ酸含有量】

施設名	泉質	メタケイ酸含有量
砂むし会館「砂楽」	ナトリウムー塩化物泉	176.2
いぶすき元湯温泉	ナトリウムー塩化物泉	195.8
山川砂むし温泉「砂湯里」	ナトリウムー塩化物泉	189.0
レジャーセンターかいもん	ナトリウムー塩化物泉	584.9

(温泉 1 kg 中の分量単位 : mg)

【指宿市内の主な温泉施設】



砂むし会館「砂楽」



山川砂むし温泉
「砂湯里」



ヘルシーランド(大浴場・たまたま箱温泉)



鰻温泉



家族温泉 野の香



殿様湯



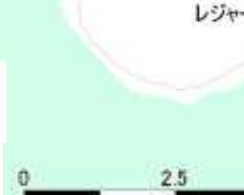
河原湯



弥次ヶ湯温泉



玉利温泉



レジャーセンターかいもん



東郷温泉



吉乃湯



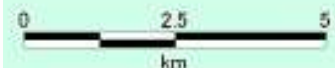
いぶすき元湯温泉



村之湯温泉



浜児ヶ水区営温泉



(2) スポーツ・イベント資源

日本で一番早く開催される市民マラソンとして、毎年1月上旬に「いぶすき菜の花マラソン」が開催されるほか、同月下旬には、菜の花に囲まれた指宿路で「いぶすき菜の花マーチ」が開催されます。

春にはアロハ宣言が行われると、「いぶすきフラフェスティバル」や「指宿トライアスロン大会」などの南国指宿らしさを生かしたイベントが多数実施されます。

また、平成24年2月には、九州オルレコースの1つとして指宿開闢コースが決定されるなど1年を通して温暖な気候を生かした、健康増進につながるイベントが実施されています。

温暖な気候からサッカー等のスポーツ合宿も盛んで、県内外から試合や合宿に訪れています。



いぶすき菜の花マラソン



いぶすきフラフェスティバル



アロハ宣言セレモニー



いぶすきトライアスロン大会



九州オルレ



スポーツ合宿

(3) 食資源

指宿はソラマメやオクラ、実エンドウ等の生産が盛んで、なかでもソラマメは出荷量全国一を誇り、平成10年には「かごしまブランド」に認定されました。温暖な指宿は、その収穫期が他産地よりも長いので、長期間供給できることが強みであり、オクラ、ソラマメ、実エンドウの組み合わせで1年を通して指宿特産の旬の野菜を提供することができます。

また、マンゴーやパッションフルーツ等のトロピカルフルーツやピワなど南国らしい果物の栽培も盛んです。




山川港では新鮮な魚が水揚げされ、港内では「いぶすき菜の花カンパチ」の養殖が行われています。また、枕崎とならび国内有数の鰹節の生産拠点であり、鰹節と味噌等を使った「茶節」は古くから疲労回復や二日酔いに効く郷土料理として親しまれてきました。

さらに、ビタミン類やミネラルを含み、栄養価の高い特産品ソラマメを利用した「そら豆スイーツ」の開発・販売、砂むし温泉の泉源で作った温泉卵を用いた「温たまらん丼」の提供など、様々な取組みが行われています。また、オクラも伝統的なオクラ漬だけでなく、オクラパウダーを使った、うどんやドレッシングソース等の商品開発も進められています。

そのほか、指宿には温泉の蒸気を利用した天然のかまど「スメ」を用いた蒸し料理等、地元食材を用いたヘルシーな素材が豊富です。

こうした指宿の特産品を栄養・健康の切り口からPRし、伝統的技法や新たな手法で加工・調理することで、食に関する^{みらい}美来型観光資源となりうると考えます。

【指宿特産野菜の収穫時期】

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
オクラ					■									
ソラマメ		■												■
実えんどう		■								■				



鰹の腹皮



黒豚しゃぶしゃぶ



ピワ



スメ料理 (鶏の丸蒸し)



いぶすき菜の花カンパチ



オクラ漬

(4) 自然資源

年間を通じて温暖な気候に恵まれている指宿は自然資源に恵まれ、そのほとんどを「我が国の風景を代表するに足りる傑出した自然の風景地」(自然公園法)として、昭和39年3月16日に霧島屋久国立公園に指定され、平成24年3月16日には新しく発足した霧島錦江湾国立公園に引き続き指定されています。

【指宿市の主な自然資源】

知林ヶ島	指宿市の沖に位置する、錦江湾(鹿児島湾)内最大の無人島。大潮・中潮の干潮時には対岸の田良浜との間に砂の道(砂州)が現れ、歩いて渡ることができる。その様子から「縁結び」や「絆」の島ともいわれ、恋愛スポットとしても注目されている。 平成13年には環境省「かおり風景100選」に選定。島内は展望台や遊歩道が整備され、Chirin's BELLやハートのオブジェなども設置されている。
開聞岳	標高924m。日本百名山に選定させた火山で山麓の北東半分は陸地、南西半分は東シナ海に面しており、見事な円錐形の山容から別名「薩摩富士」とも呼ばれている。海に向かってそびえる姿は、古くから航海の神として崇められている。
長崎鼻	錦江湾口の西に位置する薩摩半島最南端の岬。先端には白亜の長崎鼻灯台、麓には龍宮神社が建ち、航海の安全を見守っている。広がる海と秀峰開聞岳が美しい絶景で、空気の澄んだ日には三島(竹島・硫黄島・黒島)や屋久島を望むことができる。別名「竜宮岬」とも呼ばれ、龍宮神社は豊玉姫(乙姫)を御祭神とする縁結びの神社としても人気がある。
魚見岳	標高215m。車で上がることができる山頂の展望台からは沖に浮かぶ知林ヶ島のほか、雄大な霧島・桜島から佐多岬に至る錦江湾一体、市街地が望める。南側から望む姿はハワイのダイヤモンドヘッドに似ているといわれ、花見やハイキングなど市民の憩いの場にもなっている。
摺ヶ浜海岸	世界的にも珍しい天然砂むし温泉のある砂浜。後背地の山の手には90℃を超える泉源がいくつもあり、これらの熱水が海岸に流下し、浸透した海水との境界に沿って湧き上がってくるといわれる。
鷲尾岳	標高411m。山頂からは池田湖と鰻池を見下ろし、山川港や開聞岳、大隅半島や桜島、屋久島等のパノラマが広がる。4月には約1,000本の桜が咲き誇り、花見やハイキングを楽しむことができる。
竹山	東西2つの山は標高200m。およそ5~6万年前、マグマが地表に噴出する前に急に冷えて固まった火成岩の岩体が侵食してできた。 付近一体は、大隅半島の佐多・内之浦とともに、ソテツ自生地の北限地として国の特別天然記念物に指定されている。

池田湖	<p>周囲約 15 kmの九州最大のカルデラ湖。最深部は全国で4番目に深い 233mで、湖底には直径約 1 km、高さ約 150mの海底火山がある。</p> <p>市の天然記念物であるオオウナギが棲息し、謎の生物「イッシー」がいる湖としても全国的に有名になった。</p> <p>湖畔には四季の花々が咲き誇り、開聞岳も望むことができる。</p>
鱧池	<p>周囲約 4 km、水深約 57 mの火山湖で、池田湖に次ぐ九州で2番目に大きい湖。湖畔には鱧温泉があり、西郷隆盛がしばしば湯治に訪れた場所、江藤新平と会談した場所としても知られる。高温の水蒸気が噴出する場所は天然のかまど「スメ」と呼ばれ、炊事等に用いられる。</p>
鏡池	<p>広さ約 8 ha で円形をした火口湖。天候のよい日には開聞岳の姿が鏡のように水面に映り、ひととき美しい。</p>
新永吉の棚田	<p>昔、清見城の城主であった池田信濃守が、石を積み棚田にしたのが始まりで、今も地域の人々に守られ早期米が植えられている。棚田の中には豊作の神様である田の神が祀られる。池田湖や開聞岳の美しい風景に囲まれた農業景観は、大河ドラマにも登場した。</p>



魚見岳から望む知林ヶ島



新永吉の棚田



池田湖と四季の花々



西大山駅から望む開聞岳

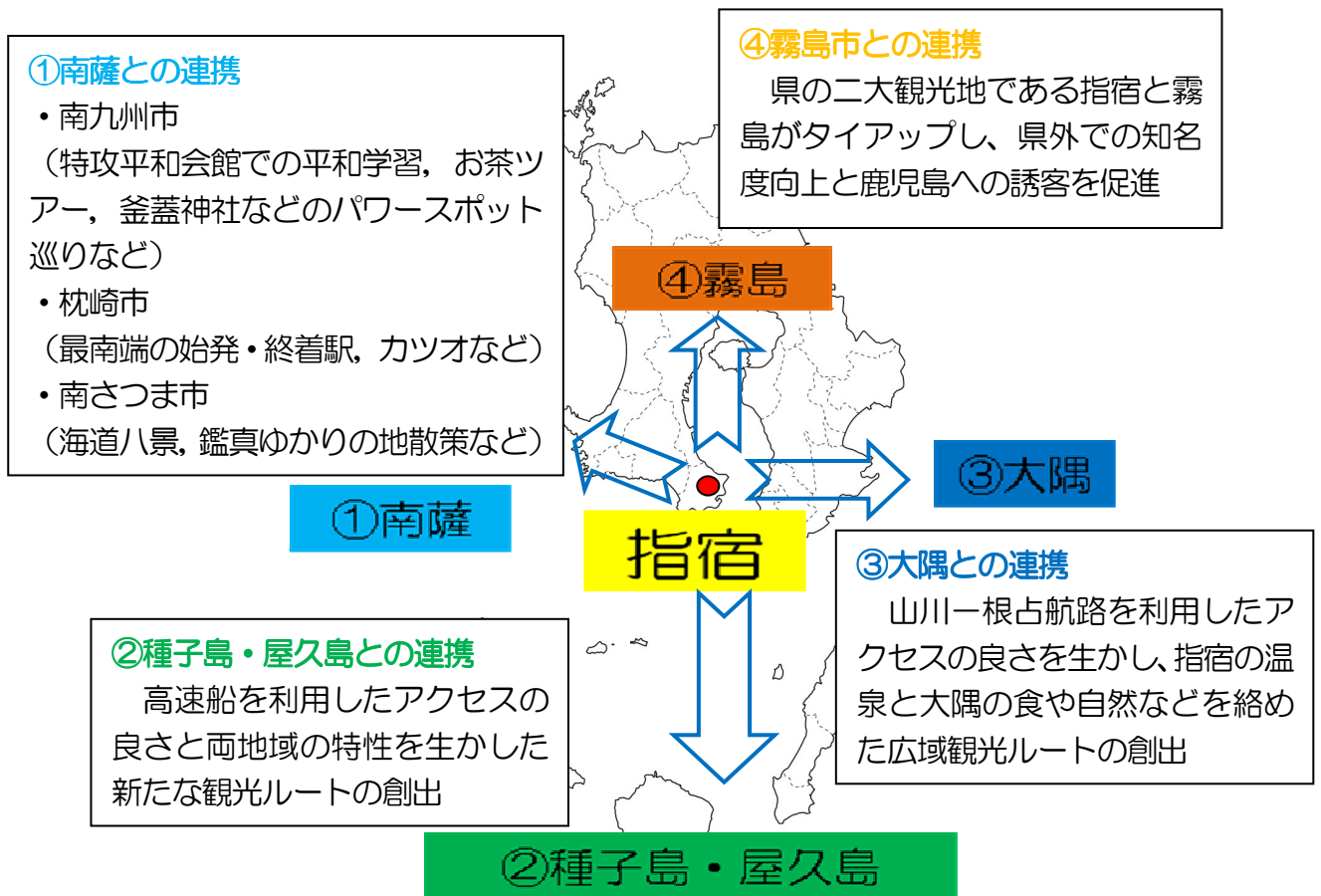


龍宮神社と長崎鼻



鏡池

3 指宿を核とした広域連携



双剣石 (南さつま市)



釜蓋大明神 (南九州市)



塩浸温泉龍馬公園 (霧島市)



知覧特攻平和会館 (南九州市)



白谷雲水峡 (屋久島町)



佐多岬 (南大隅町)

4 本ビジョンの策定体制

(1) 指宿市観光戦略ビジョン策定委員会

有識者、観光関係団体、観光関係事業者などの代表者からなる委員会を組織し、ビジョンを策定する上での視点や方向性について、協議を行った。

指宿市観光戦略ビジョン策定委員会委員名簿

(五十音順、敬称略)

	氏 名	職 業 ・ 所 属 ・ 役 職 等
1	有村 青子	指宿温泉華の会 会長
2	伊佐 幸子	指宿市地域女性団体連絡協議会 会長
3	今林 重夫	指宿商工会議所 会頭
4	岩崎 裕	指宿まるごと観光ガイド会 会長
5	河野 勝人	山川町漁業協同組合 代表理事組合長
6	川畑 清志	九州旅客鉄道(株)鹿児島支社 副支社長
7	中村 勝信	(社)指宿市観光協会 会長
8	西村 仁	いふすぎ農業協同組合 代表理事組合長
9	東 清貴	(社)鹿児島県観光連盟 事務局長
10	福ヶ迫 昭善	菜の花商工会 会長
11	細川 明人	指宿温泉旅館事業協同組合 代表理事
12	本 重人	鹿児島県観光交流局観光課 課長
13	柳田 一郎	鹿児島県南薩地域振興局総務企画課 課長
14	上村 欣久	指宿市 副市長

(2) 指宿市観光戦略ビジョン準備委員会

観光関係団体、観光関係事業者などの実務者からなる委員会を組織し、現状や今後取り組みたい事項について、協議を行った。

指宿市観光戦略ビジョン準備委員会委員名簿

(五十音順、敬称略)

	氏 名	職 業 ・ 所 属 等
1	池増 慎吾	指宿青年会議所
2	掛上 敦子	鹿児島県南薩地域振興局総務企画課
3	鹿籠六 貴子	(社)鹿児島県観光連盟国内誘致部
4	楠生 利忠	JR指宿駅
5	倉本 哲	菜の花商工会青年部
6	澤山 幸三	ホテル予約会
7	水流 美紀子	指宿市地域女性団体連絡協議会
8	寺崎 健太郎	九州旅客鉄道(株)鹿児島支社総務企画課
9	西岡 華代	山川水産加工業協同組合協和会
10	浜田 一生	指宿中央通り商店街振興組合
11	日高 公子	鹿児島県観光交流局観光課
12	細川 ゆり	(社)指宿市観光協会
13	宮田 久美	各種ガイド・インストラクター
14	湯ノ口 久仁子	指宿グリーンツーリズム協議会

指宿市観光戦略ビジョン準備委員会 コーディネーター兼アドバイザー

(敬称略)

賀戸 恵	(株)リクルートライフスタイル
------	-----------------

5 本ビジョンの策定経過

指宿市観光戦略ビジョン策定の経過

時 期	会議・意見募集等
平成24年7月19日	ホームページによる意見募集（9月14日まで）
平成24年8月15日	広報いぶすきによる意見募集（9月14日まで）
平成24年8月22日	第1回指宿市観光戦略ビジョン準備委員会
平成24年9月25日	第2回指宿市観光戦略ビジョン準備委員会
平成24年10月5日	第1回指宿市観光戦略ビジョン策定委員会
平成24年10月19日	第3回指宿市観光戦略ビジョン準備委員会
平成24年11月6日	第4回指宿市観光戦略ビジョン準備委員会
平成24年11月28日	第5回指宿市観光戦略ビジョン準備委員会
平成24年12月17日	第2回指宿市観光戦略ビジョン策定委員会
平成25年1月10日	第6回指宿市観光戦略ビジョン準備委員会
平成25年1月21日	第7回指宿市観光戦略ビジョン準備委員会
平成25年2月5日	第8回指宿市観光戦略ビジョン準備委員会
平成25年2月20日	第3回指宿市観光戦略ビジョン策定委員会
平成25年3月1日	パブリックコメントの実施（3月30日まで）
平成25年3月31日	策定